

# 令和6年度事業報告書

自 令和6年4月1日  
至 令和7年3月31日

公益財団法人 **オイスカ**

## 目次

はじめに

|               |    |
|---------------|----|
| 1. 海外開発協力事業   | 1  |
| 2. 「子供の森」計画事業 | 8  |
| 3. 人材育成事業     | 14 |
| 4. 啓発普及事業     | 29 |
| 5. 収益事業       | 46 |
| 6. 組織の運営      | 47 |

## はじめに

本年は昭和 100 年、戦後 80 年という大きな節目の年にあたります。同時に国際社会はトランプ米国大統領の登場を機に、冷戦終結後の枠組みや価値観などの変化が一層顕著となりつつあり、不安定感が増していく情勢となっています。一方、昨年度も地震をはじめとする自然災害や山林火災、海洋汚染、さまざまな人災による自然環境の破壊も頻発。私たちは唯一の住処である母なる地球からの声なき声に何らかのメッセージを感じずにはられません。

創設以来 64 年目を迎える私共オイスカの活動ですが、その担い手も第二・第三世代へと移りながらも、一貫して創立者が唱えた「物質と精神の調和した社会」の構築という遠大な目的に向かって、日々具体的な取り組みを通じ、地道ではありますが歩みを続けています。そうした活動も時には厳しい国際情勢のなかで埋没しそうな感覚に陥ることもありますが、常に原点に帰り心を奮い立たせながら、活動の基本ともいえる農業をはじめとする産業開発や環境保全、人材育成などの重要性を再確認しつつ、鋭意取り組んでいます。

さて、令和 6 年度は①海外開発協力事業、②「子供の森」計画事業、③人材育成事業、④啓発普及事業の公益 4 事業をほぼ計画に沿って推進することができました。ただ、全体的には財源の基礎となる収益の伸びが期待値に届かず、また諸物価の高騰等の影響もあって固定費がかさみ、残念ながら厳しい決算となりました。それでもこの一年間、国内外での諸活動をほぼ恙なく実施できましたのも、ひとえに長年にわたる賛助会員や支援者の皆様の心温まるご尽力の賜物であると深く感謝し、改めて関係各位に厚く御礼申し上げます。

公益法人認定法の一部改正がこの 4 月から施行されました。法人の自立性や透明性の確保がより求められるようになり、ガバナンスの向上も問われるようになっていきます。オイスカを取り巻く環境も年々変化をしていますが、様々な変化に対応しつつも原点を忘れず、国内外の諸課題解決に向けて取り組んでまいり所存です。国内外の期待になお一層応えていくべく、引き続きご支援ご協力、ご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和 7 年 6 月

公益財団法人オイスカ  
理事長 中野 悦子

## 1. 海外開発協力事業

### 総括

アメリカのトランプ大統領の関税に関する発言が株価や為替などの世界経済に影響を与え、世界の企業業績にも影を落としつつある。当法人が受け入れる寄附金も、相対的な価値が下がり今後の事業運営の見通しが立ちにくくなっている。そのような状況ではあるが、今年度も自然再生・保全活動、海外人材育成、持続可能な産業の開発・促進を中心とした事業を推進した。

自然再生・保全活動では、自然の力を生かした社会課題解決（EBS）のアプローチを取り入れ、持続可能な森づくりを推進するため、各国で住民の生計向上を組み入れた事業を推進し、気候変動や環境破壊のリスクにも対応できるような生態系を活用した防災減災活動（Eco-DRR）を海岸地域でのマングローブ保全を中心として継続した。また、ウズベキスタンにおける沙漠緑化では、現地農業大学との協働での乾燥地における試験栽培に加え、政府や国際機関との関係性作りによる植林の普及などを経団連自然保護基金による助成などで実施した。

海外人材育成では、カウンターパートである相手国政府との協約に基づき、農業や環境に関する研修活動がアジア太平洋各地で続けられ、各国でリーダーシップを発揮できる有為な人材の育成に努めている。コロナ禍を経て研修生の総数は減少傾向にあるが、これまでに育成した研修生のOBOGが各方面で活躍している。また、従来 of 農業を中心とした訪日研修に加え、近年急速にニーズが高まっている技能実習や高度な技能を持つ人材の日本招聘の拠点としての機能も研修センターや現地組織が果たしている。

持続可能な産業の開発・促進では、フィリピンでの養蚕普及、拡大による伝統文化の復興、発展及び地域住民の生活向上支援事業（外務省・日本 NGO 連携無償資金協力）を実施し、フィリピン政府からも期待の大きい養蚕業の全国への普及を後押しすることとなった。また、インドでのガンジス川浄化に資する生計向上プロジェクトでは、竹炭を活用した土壌改良で農産物の質の向上を図る取り組みが継続して行われ、現地住民による竹炭生産とそれを活用した農業の促進に寄与した。

これらの取り組みから特徴的なものをいくつかを取り上げ以下に紹介する。

### 1. プロジェクトの実施成果

#### <自然再生・保全活動>

近年、豪雨や台風などの自然災害が頻発化、甚大化している中、Eco-DRR（Ecosystem-based Disaster Risk Reduction／森林などの生態系を活用した防災・減災）に主眼を置いた植林の必要性が高まっている。特に沿岸部におけるマングローブおよび海岸林樹種の植林は、海から吹く強い潮風や高潮、海面上昇による海岸線の浸食などの脅威から地域を守るためにニーズが高く、フィジー、インドネシア、フィリピン、タイ、バングラデシュ等の各国で、企業などからの支援を受けながら新規植林や補植、保全活動を行った。

また、これまでの植林地の維持管理作業も継続して実施したほか、地域住民が森からの恩恵を受けながら、その森を長く守っていけるよう、生計向上につながる住民向けの取り組みにも注力した。

令和6年度に新規に植林されたのは、8カ国で約312.7ヘクタール、1,236,826本となった（「子供の森」計画での植栽分含まず）。

マングローブ、乾燥地緑化、山間地での植林の3つの事例を紹介する。

#### 1. マングローブ保全プロジェクト

令和6年度は、インドネシア、タイ、フィリピン、フィジー、バングラデシュの5か国で計145ヘクタール、99万8千本の新規植林・補植および、過去の植林地の管理や持続可能

な管理・保全のための取り組みを実施。

インドネシア、フィリピンにおいては、台風や高潮の影響を受け、過去に植林したマングローブや新規に植林した苗の倒伏や流失といった被害が深刻となっている。特にインドネシアの中部ジャワでは、河川や港湾の工事による海流の変化、気候変動が一因と思われる風や波の威力の増大などによる被害が大きく、コンクリート製の消波ブロックの設置など、グレーインフラを併用しなければマングローブの保全および植林ができない地域も出てきている。今年度は、強風、高波が続いたことで、その消波ブロックでさえも破壊されてしまうほどの被害を受けており、気候変動への対応がより一層求められる状況となっている。

いずれの国や地域においても地元の行政と連携し、地域住民への啓発活動にも注力しており、植林への参画はもとより、その保全ための協力を呼びかけている。例えば、住民が放し飼いにしているヤギの食害、マングローブ林内での漁の際に船や網で苗木を傷つけてしまうといった被害も一部確認されているが、行政の協力を得ながら住民への理解を求め改善を図るといった取り組みを継続的に進めている。

フィジーでは、海岸やそこに育つマングローブを観光資源としているリゾートホテルがホテルの敷地内に植林を進めており、オイスカは苗木の提供や技術指導を行うといった連携を図っている事例もある。また、コロナ禍で下火となったエコツーリズムの回復も少しずつ進んでおり、タイでは女性グループのメンバーたちが、観光客向けにマングローブのお茶や石けんなどを作って販売するなど、マングローブ林を活用した生計向上のモデルケースとなっている。

### 2. ウズベキスタン沙漠化防止プロジェクト

湖が干上がり沙漠化したアラル海の湖底でのサクサウールの植林を進めるこのプロジェクトは、立ち上げ当初は10年間で4万ヘクタールの植林を目指していたが、現在は、年間10万ヘクタール規模で植林を進めている地元林業局への技術協力を行うことで、アラル海全体の緑化推進への貢献をすることを目標としている。

特にECやpHが高く、サクサウールの生育が難しいエリアは林業局の植林地から除外されており、オイスカではそうしたエリアでの緑化が可能となるようさまざまな塩害対策を講じた試験植栽を行っている。

また沙漠化により漁業や水産加工業などが衰退した同地は、現金収入を得る手立てが少なく、国外への出稼ぎを余儀なくされている住民が多いため、生計向上のための活動も欠かすことができない。今年度は国連開発計画(UNDP)と協働で、住民を対象としたニクジュヨウ栽培のセミナーを実施。ニクジュヨウはサクサウールの根に寄生して育つため、ニクジュヨウで現金収入を得るために住民が自発的にサクサウールの植林をするようになることが期待される。一方で、収穫まで3年程かかるニクジュヨウのほかにも、より早く収穫が可能となるサツマイモの普及も目指しており、試験栽培を行ったほか、来年度の普及に向けたモデル農家選定などの準備を進めてきた。

### 3. マイチャルーン村森林再生プロジェクト(タイ)

タイ北部のチェンライ県で今年度立ち上がったこのプロジェクトは、水源林を守り、ふるさとを守るため、100ヘクタールの緑化を目指すもので、2028(令和10)年までの5年間で、そのうちの32ヘクタールに植栽をする予定となっている。

現地では、住民との話し合いを重ねながら、育苗など植林に向けた準備を進め、8月に植林を実施。植林当日は、地域住民だけではなく、警察や軍のほか天然資源環境省、民間企業などからも多くの人たちが集まり、3,000本が植えられた。以降、下草刈りや補植、施肥などの管理活動を住民が主体となって進めているほか、森林火災対策の研修や防火帯づくりなど、森を守るための活動にも取り組んでいる。

同プロジェクトの活動資金は、日本で約1ヵ月半にわたりクラウドファンディングを行い、「森を守ることは、生活と文化を守ること」と呼びかけて集めたもの。オイスカにとつ

て、こうした形でのクラウドファンディングの実施は初めての取り組みとなった。

### <海外人材育成>

これまで、主にアジア太平洋地域において、農村地域の農業振興や環境保全活動のリーダーとなる人材の育成に取り組んできた本事業であるが、その取り組みには様々な形態がある。当地の行政や関係機関と良好な信頼関係を築いて長期にわたり活動を続けており、日本への人材送り出し機関としても機能し始めているフィリピン・ネグロス島での活動についてここでは紹介する。

#### ・バゴ研修センター（フィリピン・ネグロス島バゴ）

今年度、フィリピンでは、エルニーニョ現象により、干ばつで一部の地域では深刻な水不足となるなど、農業において大きな影響を受けた。バゴ研修センターでは、米や野菜の生産において、可能な限り有機農業を実践しているが、現在、フィリピン政府は農業分野で有機農業に力を入れており、センターもこの方針を支持している。

バゴ研修センターは 1981 年に近隣の農家ためのモデルファームとして活動を開始した。現在ではその役割は多岐にわたり、農業や日本語の指導、養蚕事業を通じた生計向上プログラムなどに取り組むほか、地域や日比の交流拠点ともなっている。

その中でも、州政府と協働の研修プログラムや日本人講師による日本語授業の実施、養蚕事業における農家研修など、人材育成活動に力を入れており、今年度のバゴ研修センターの研修生は、短期研修も含めると総数 265 名となった。うち農業研修プログラム 12 名、日本語コース 32 名、養蚕セミナー 53 名、被覆アーク溶接 20 名が研修を受けたほか、農業関係の国家資格受験につながる研修を近隣の高校の学生 148 名に対して実施した。

農業研修プログラムでは、研修生たちは稲作や野菜栽培を中心に学びながらも、センター内で行われている養蚕にも携わり蚕飼育、桑畑管理を学んだり、日本語や日本の習慣なども学んだりしており、日本での研修に進むこともできる。日本語コースでは、平日 1 日 6 時間の日本語の授業で一から日本語を学ぶ。日本語コースを終えた研修生は、日本の企業で働くなど、将来の進路へとつながっている。

### <持続可能な産業の開発／促進活動>

途上国においても生活様式が多様化する中、生計向上への様々な選択肢を提供し、環境と調和しながら進める持続可能な産業の育成は、世界中でニーズが高まっている。特別な技術を必要とせず、ある程度の勤勉さをもって実践すれば自ずと生活していけるような土から離れない産業を現地の方々に紹介、導入し取り組んでもらい、その結果として自然環境も守られるよう実践している。本年度も以下のような取り組みが進められたので紹介する。

#### 1. 養蚕普及・拡大による伝統文化の復興・発展及び地域住民の生活向上支援事業（フィリピン）

外務省 NGO 連携無償資金協力の支援を受けて実施した本プロジェクトはネグロス養蚕事業の実績を評価した政府関係機関のフィリピン繊維研究所 (PTRI) からの支援要請を受けて始めたもので東ミサミス州、ベンゲット州、ヌエバビスカヤ州を対象地としている。事業対象地の 3 州は過去に養蚕地帯として栄えたこともあり現在でも養蚕技術を有する年配の女性らが僅かにおり助言等を行っている。養蚕についての基礎的知識及び技術習得において東ミサミス州の新規農家 30 名に対し 3 回に分けてネグロス島のバゴ研修センターでの研修を実施した。参加した農家は研修センターでは指導員の分かりやすい指導や技術力を高く評価した。一方ベンゲット州とヌエバビスカヤ州は PTRI が中心となって新規の農家と既存の農家に対し定期的にセミナーや実習を行い良質繭生産のための能力向上を図った。施設整備計画においては壮蚕所を東ミサミス州 2 棟、ベンゲット州 5 棟、ヌエバビスカヤ州 1 棟の計 8 棟を建築し設置。また東ミサミス州においては州立大学も参加して桑苗と野菜苗の育苗を目的としたビニールハウス 1 棟と桑園及び野菜畑の灌用水用発電を目的としたソーラ

一システム 2 基を設置した。事業開始当初は前年からのエルニーニョ現象により特に東ミサミス州では年末から 5 月上旬までの約半年間にかけて殆んど降雨が見られず、またベンゲット州及びヌエバビスカヤ州でも新たに植栽した桑苗の生長が遅れるなどの影響を受けた。一部既存の農家では壮蚕が可能だったものの蚕が最も桑を食する 5 令期に与える桑が足りず、蚕が繭を形成するまでに至らなかった事例も報告された。新規農家においてはさらに桑の生長が遅く多くの農家が一回も蚕を飼うことが出来なかった。こうした影響は壮蚕所建築開始の遅れにもつながりベンゲット州では全ての壮蚕所が完成したのは 3 月末で、事業期間内にようやく間に合ったという状況である。

目的とした養蚕農家の増大に伴う繭生産の増量、さらに優良な生糸生産と機織りによる伝統文化の復興までは到底達成できていない。気候変動の影響によるところが大きいと思われるが、一方でヌエバビスカヤ州では夫婦揃ってそれぞれの大学と高校で教鞭をとりながら養蚕の普及に自ら努力して取り組んでいるオイスカの研修生 OBOG の存在も明るい話題として出てきている。今後は彼らとの連携も密に図りながら引き続き目標に向けて地道な努力を重ねていくことが肝要であると捉えている。

### 2. ガンジス河流域村における水・土・森の自然資源共生型農業技術普及による持続可能な生計向上支援プロジェクト（インド）

JICA 草の根技術協力事業として令和 5 年度より開始した「ガンジス河流域村における水・土・森の自然資源共生型農業技術普及による持続可能な生計向上支援プロジェクト（草の根パートナー型）」を継続して実施した。本事業は、ウツタル・プラデシュ州バラナシに位置するガンジス河流域の 3 つ村の住民を対象に、竹炭など自然資源を活用した農業技術の導入による生計向上・生活環境改善を目標としている。

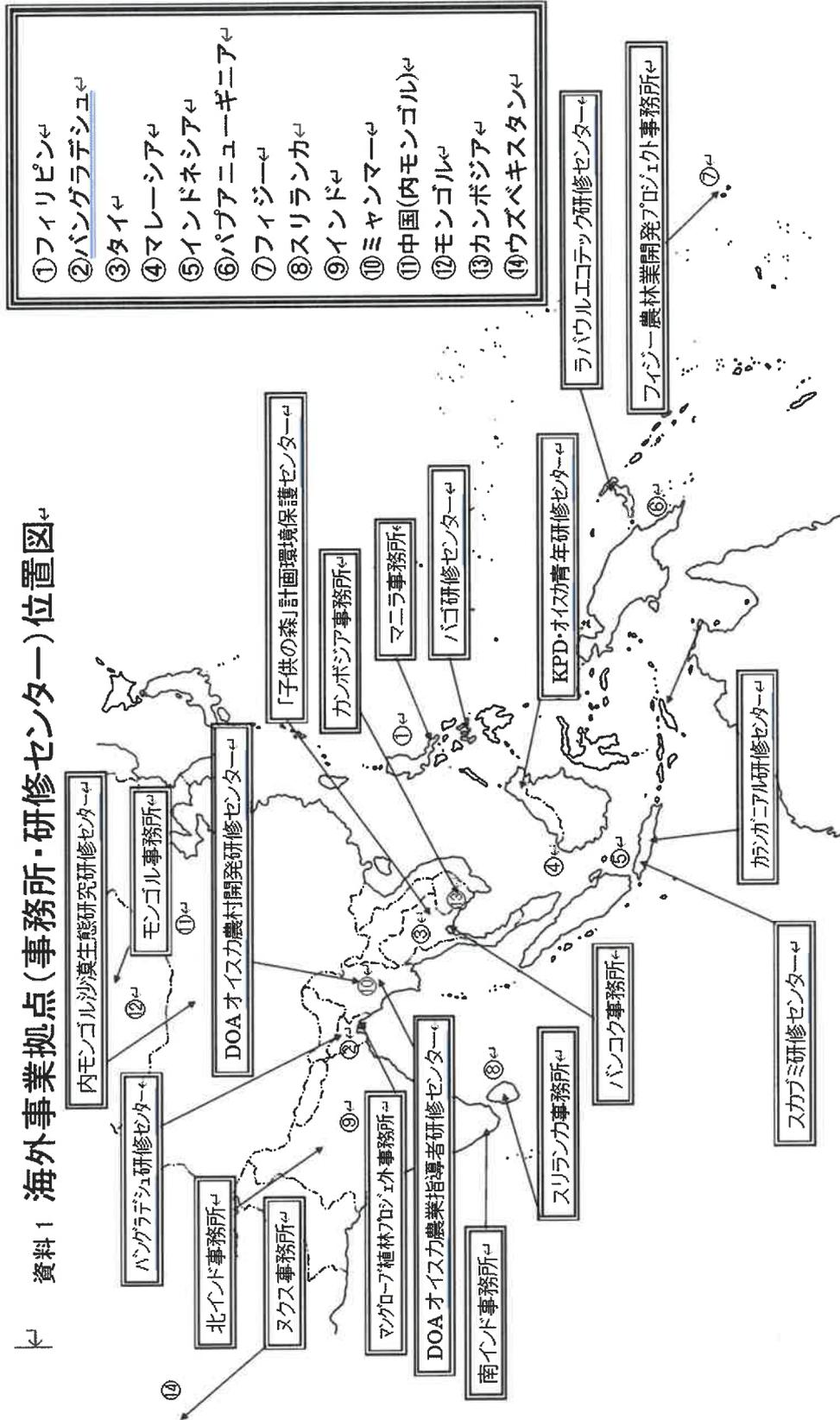
竹炭を取り入れた農業と果樹・ハーブの植林を行い、それによって得られた農作物の販路開拓をすることで、環境を保全しながら所得向上を目指す。同時に、ガンジス河の汚染の深刻化という背景がある中で、自然資源の持続可能な活用の必要性に対する住民の理解を深めるねらいがある。

今年度は、竹炭づくりや窯づくりを専門家の指導の下で行いながら、技術習得を進めて、現地の住民のみで炭の生産を実施できるようになった。畑へ竹炭を投入した試験栽培も 5 軒の農家で開始した。炭の活用方法や土壌に取り入れた場合の効果について住民が理解を深められるようセミナーを開催し、3 つの村で総計 242 名の住民が参加した。さらに環境問題への意識向上を目的とした啓発プログラムも実施し、児童 140 名、住民 121 名が参加した。また 3 村で総計 535 本の果樹ハーブを植林し、竹炭や有機堆肥を活用しながら行う栽培を開始した。今後は竹炭の生産・活用を住民で担えるようにしながら、栽培した作物の販路開拓を進める。

### 3. 熱帯林保全プロジェクト（パプアニューギニア）

COSMO エコ基金（旧コスモエコカード基金）の支援を受けて実施してきた本プロジェクトは、近年急速に減少しているパプアニューギニアの熱帯林を保全するため、森林減少対策のモデルケースづくりとその普及を目指して実施してきた。現地森林減少の二大要因の一つである焼き畑に対してはそれに代わる農法として定置型有機農業の普及を目指し、青年に対する農業研修の提供の他、現地資材を活用した新たな肥料等の開発と普及、精米機や農業倉庫などのインフラ提供などを実施。またもう一つの要因である伐採業者による強引な土地の侵奪や伐採行為に対抗するため、熱帯林を保護区として登記するための活動を実施してきた。その他にも自生樹種や換金樹種の植林、女性のエンパワーメント研修、刑務所やその元服役者への農業指導など、様々な角度からのアプローチを実施し大きな成果を上げてきた。2002 年から実施してきた本プロジェクトはこの度 2024 年度をもって基金からの支援が終了となったが、今後は現地主導のもと東ニューブリテン州政府や国連機関などからの支援を活用し、引き続きサポートを実施していく。

資料1 海外事業拠点(事務所・研修センター)位置図



資料2 海外駐在員派遣リスト

駐在員

|  | 氏名 | 担当業務 |
|--|----|------|
|--|----|------|

インドネシア

|   |       |      |
|---|-------|------|
| 1 | 加納 達也 | 運営管理 |
| 2 | 和 泉 守 | 運営管理 |

フィリピン

|   |       |      |
|---|-------|------|
| 3 | 渡辺 重美 | 運営管理 |
| 4 | 石橋 幸裕 | 運営管理 |

タイ

|   |       |      |
|---|-------|------|
| 5 | 春日 智実 | 運営管理 |
|---|-------|------|

パプアニューギニア

|   |        |           |
|---|--------|-----------|
| 6 | 荏原 美知勝 | 農業技術指導・調整 |
|---|--------|-----------|

フィジー

|   |             |       |
|---|-------------|-------|
| 7 | ジョセリン マツノハイ | 調整・渉外 |
|---|-------------|-------|

調整員（本邦を拠点とし出張派遣）

|  | 氏名 | 担当業務 |
|--|----|------|
|--|----|------|

ウズベキスタン

|   |       |      |
|---|-------|------|
| 8 | 富 樫 智 | 運営管理 |
|---|-------|------|

バングラデシュ

|   |       |      |
|---|-------|------|
| 9 | 小杉 辰雄 | 運営管理 |
|---|-------|------|

インドネシア

|    |         |      |
|----|---------|------|
| 10 | 中 垣 豊   | 運営管理 |
| 11 | 中 垣 ア ダ | 運営管理 |

資料3 海外事業拠点別 現地スタッフ及び、受入研修生数

| No | 国名        | センター・事務所                 | 現地スタッフ | 研修生 |
|----|-----------|--------------------------|--------|-----|
| 1  | バングラデシュ   | バングラデシュ研修センター            | 8      | -   |
| 2  |           | マングローブ植林プロジェクト事務所(チッタゴン) | 3      | -   |
| 1  | インド       | 南インド事務所                  | 11     | -   |
| 2  |           | 北インド事務所                  | 7      | -   |
| 1  | インドネシア    | スカブミ研修センター               | 38     | 17  |
| 2  |           | カラングニアル研修センター            | 7      | 20  |
| 3  |           | 駐在員事務所                   | 1      | -   |
| 1  | マレーシア     | KPD-オイスカ青年研修センター         | 22     | 58  |
| 1  | モンゴル      | モンゴル事務所                  | 4      | -   |
| 1  | ミャンマー     | DOA オイスカ農村開発研修センター       | 20     | 0   |
| 2  |           | DOA オイスカ農業指導者研修センター      | 13     | 10  |
| 1  | フィリピン     | マニラ事務所                   | 5      | -   |
| 2  |           | バゴ研修センター                 | 14     | 212 |
| 3  |           | ヌエバビスカヤ植林プロジェクト          | 2      | -   |
| 4  |           | パラワン研修センター               | 4      | 0   |
| 5  |           | アブラ農林業研修センター             | 5      | 20  |
| 6  |           | ヌエバエシハ研修センター             | 2      | 13  |
| 1  | スリランカ     | スリランカ事務所                 | 5      | -   |
| 1  | タイ        | 北部タイ緑化プロジェクト(チェンライ)      | 3      | -   |
| 2  |           | マングローブ・プロジェクト(ラノー)       | 3      | -   |
| 3  |           | 「子供の森」計画環境保護センター(スリン)    | 1      | -   |
| 4  |           | 「子供の森」計画(コンケン)           | 1      | -   |
| 5  |           | バンコク事務所                  | 5      | -   |
| 1  | カンボジア     | カンボジア事務所                 | 3      | -   |
| 1  | フィジー      | フィジー農林業開発プロジェクト事務所       | 6      | 19  |
| 1  | パプアニューギニア | ラバウル・エコテック研修センター         | 15     | -   |
| 1  | 中華人民共和国   | 内モンゴル沙漠生態研究研修センター        | 2      | 1   |
| 1  | ウズベキスタン   | ヌクスオフィス(カラカルパクスタン農業大学内)  | 9      | -   |
| 合計 |           |                          | 219    | 369 |

\*現地スタッフとは、法人の直接雇用ではなく個別プロジェクトのニーズに見合う臨時雇用者を現地採用しているスタッフ

## 2. 「子供の森」計画事業

### 1. 総括

2024年、気候変動と生物多様性の損失が世界規模で深刻化する中、国際社会では持続可能な未来に向けた取り組みの加速が強く求められている。2024年10月に開催された生物多様性条約第16回締約国会議（COP16）では、アントニオ・グテーレス国連事務総長が「自然との平和を築くことが21世紀の決定的課題である」と述べ、各国に対して、「言葉を行動に変えるべき」と具体的行動を呼びかけた。生態系と社会課題が相互に関連する中、地域レベルでの取り組みを通じ、行動に移すことの重要性が増している。

活動国においても、干ばつや洪水、山火事、異常高温といった自然災害が頻発し、子どもたちの生活や教育環境にも影響を及ぼす中、「子供の森」計画（以下、CFP）は、自然とともに生きる価値を次世代に伝える取り組みとして、植林を軸とした環境教育を継続・発展的に実施。環境面のほか、物価の上昇や社会情勢の不安定化といった社会的課題も重なる中でも、現地の教員、保護者、地域住民、行政などの協力により、子どもたちが自然にふれ、育て、学ぶ機会を各地で維持することができた。2024年度には新たに98校が仲間入りをし、1991年の事業開始からの累計参加校は、5,670校となった。

緑化の面においては、15の国と地域の485の学校とコミュニティが参加。樹種の工夫や水資源の活用、補植などの対応を通じて補植による生存率向上の工夫がなされ、環境条件に応じた持続的な緑化活動が試みられた。その成果は、緑化面積だけでなく、果樹の植栽やアグロフォレストリーの実践、育てた森を活かした各種プログラムによって、子どもたちの栄養改善、学校収入の補完、地域への広がりといった多面的な価値をもたらしている。また、ごみ分別や学校菜園、自然観察などの実践を通じて、子どもたちが環境問題を自分ごととして捉える姿勢が生まれている。活動の波及は学校内にとどまらず、保護者や地域住民も巻き込む形で、地域ぐるみの取り組みへと広がりを見せている。グローバルな気候危機の中、未来を担う子どもたちが地域の自然に根ざした実践を通じて、環境に配慮した行動を身につける機会を保障することは、将来の持続可能な社会づくりにとっても重要である。各地の経験や工夫を活かしつつ、今後もCFPが多様な地域と世代をつなぐ取り組みとして発展していくことが期待される。

また、担い手の育成・連携強化を目的に、10月には日本国内において4か国（インドネシア、マレーシア、ミャンマー、タイ）から6名のコーディネーターを招いて研修を実施。日本各地での森林保全や環境教育を学ぶとともに、国を越えたネットワーク構築を図った。次世代のコーディネーターの育成として、オイスカの訪日研修生に対する研修も強化している。さらに5月には、タイおよびインドネシアの子ども親善大使と指導者を招聘し、日本各地で報告会や交流、トークイベントを行った。子どもたち自身が自国の活動を伝える機会となり、支援者や市民との相互理解の促進にもつながった。

支援者の方には、各国の活動レポートに加えて、CFP全体の取り組みや成果を紹介するニュースレターやカレンダーなどをお届けし、活動への理解と関心を深めていただけるよう努めた。こうした広報活動も後押しとなり、2024年度（2024年4月1日～2025年3月31日）の支援口数は5,759口、寄附金（企業・団体・個人を含む）の総額は48,218,157円となった。活動の実施にあたっては、現地のニーズや体制を踏まえ、バングラデシュ、カンボジア、フィジー、インド、インドネシア、マレーシア、ミャンマー、モンゴル、フィリピン、パプアニューギニア、スリランカ、タイで重点的に事業を展開した。

## 2. 各プロジェクト実施成果

### ① 課題に向き合い、地域と進める森づくり

2024年度は、15の国と地域における458校と27のコミュニティで緑化活動を展開した。地球温暖化による干ばつや豪雨などの影響が各国で続くなか、植林のタイミングや樹種の選定、ペットボトルを使った灌水システムを導入するなどの工夫を通じて、苗木の定着率向上を図った。乾燥の厳しいミャンマーやインドネシアの活動地には助成金（インドネシア：国土緑化推進機構・緑の募金、ミャンマー：TOTO水環境基金）を活用して雨水貯蔵設備を導入し、水資源を確保しながら緑化を促進した。校内に十分な植林スペースがない学校からの参加ニーズも増えており、解決策として、各地にて政府、民間企業、寺院、地域社会と協力して、学校外での活動を進めるなど、地域資源を最大限に活用する工夫が見られた。スリランカでは、国立青年サービス委員会（NYSC）との協働のもと、同委員会が運営する研修センターや国内各地の学校で植林活動が実施され、苗木の提供も受けるなど、行政との連携が着実に進展している。また、他の国々でも地元企業が苗木を拠出する事例が見られるようになっており、少しずつではあるもののCFPの取り組みを支える協力の輪が広がりつつある。

フィリピンでは、特に植林ニーズの高い北部ルソンをモデル地域とし、過去の経験を踏まえた森づくりに力を入れている。この地域では、1990年代にCFPの活動初期に植えられた早生樹が成長してきたものの、強風に弱く、台風などの影響で倒木が相次ぐケースも見られるようになってきている。今後は、新規の植林とあわせて、生物多様性や防災・減災の観点を取り入れた樹種の見直しや再植林が重要な課題となる。一方で、かつての植林により改善された土壌環境が、新たな樹種の定着を可能にしており、長期的に見た森林再生の基盤が着実に育ってきている。

生物多様性に関する象徴的な取り組みとしては、5月22日の「国際生物多様性の日」にあわせたグリーンウェイブ活動を国連生物多様性条約事務局（SCBD）との連携のもと継続して推進した。2024年度は、13の国と地域で263の学校や地域が参加し、各地の郷土樹種の植樹や、生物多様性に関するセミナーなどが実施され、延べ9,531名が参加した。

### ② 自然とともに学び、行動の芽を育てる

2024年度、CFPに参加する各地の学校では、植林に加えて、子どもたちが身近な自然や生活と向き合う実践的な環境教育活動が数多く行われた。とりわけ学校菜園やごみの分別、再利用などの取り組みは、学びの成果が日常生活に直結しやすく、教室の外で五感を使って学ぶ貴重な機会となっており、児童・生徒の関心も高い傾向が見られた。

菜園活動では、地域にある堆肥資材（落ち葉、牛糞など）を活用したり、農業に頼らない方法を学ぶことで、環境にやさしい農業の考え方を楽しみながら身につけている。また、ごみの分別や再利用に関する活動も広がりを見せている。タイでは「ごみの銀行（Garbage Bank）」という仕組みを導入し、子どもたちが回収したリサイクルごみを学校で計量・交換する仕組みが進められている。こうした取組は、子どもたちに資源循環や経済の視点もあわせて教える機会となっており、自宅での分別や家族への発信にも波及している。

環境教育の広がりの中で、近年では収穫物の活用にとどまらず、活動の中で生まれた「CFPプロダクト」の製作・販売も進んでいる。果樹や野菜の販売に加え、葉や草花を使ったエコ

プリント、手づくりの有機肥料、ハーブの加工品、リサイクル素材を使った小物などが子どもたちの手によって生み出され、学校のバザーや地域のイベントなどで販売されている。これらの活動は、子どもたちの創造力や学びを実感に変えるだけでなく、少しずつ学校や地域の収入源ともなり、活動の継続意欲を支える要素として根づき始めている。

こうした体験的な環境教育は、単なる知識の習得にとどまらず、子どもたちが自分の暮らしの中で環境に優しい行動を実践するきっかけとなっている。ごみの分別が家族の習慣になった、育てた野菜を家庭でも植えるようになった、というような声も多く寄せられている。教育資源や時間に限りのある地域においても、「教室を出た学び」の価値が見直されており、コーディネーターや教員の工夫を通じて、子どもたちの環境への理解と行動変容が、着実に広がっている。

なお、治安や社会情勢により活動への制約が続くミャンマーでは、比較的安定した地域において、TOTO 水環境基金の助成を受けたプロジェクトを実施。学校の水環境や衛生設備の改善を通じて、より質の高い環境教育の実施を目指した。11校での植林・環境学習活動のほか、雨水貯蔵設備（1校）、トイレ（1校）、苗床（2校）、焼却炉（2校）の設置といった設備整備も行われ、のべ2,772名が参加。雨水を活用した菜園づくりや緑化活動が安定的に実施できるようになったほか、学習環境や衛生面の改善にも大きく寄与した。さらに、有機農業の実践指導や教員向けセミナー、エコキャンプを通じて、子どもたちだけでなく、教職員や保護者、地域住民にとっても環境意識と実践力を高める機会となった。なお、2025年3月に発生した地震により、被害が確認された学校もあり、今後も継続的な調査とフォローアップを進めていく。

### ③ 活動をつなぐ力を育てる

CFPの活動は、子どもたちだけで完結するものではなく、現場で日々の活動を支えるコーディネーターや教員、地域の大人たちの存在こそが、その根幹を支えている。その一方で、参加国の多くでは高齢のコーディネーターの負担増や、若手の定着が進まないといった課題を抱えている。2024年度は、こうした担い手の育成と連携強化を目的とした研修や人材交流にも注力した。インドネシア、フィリピン、ミャンマーでは、コーディネーターや教員向けの環境教育セミナーを実施し、各地や各校における成果や課題を共有するとともに、授業に取り入れられる実践的なプログラムを紹介する場を設けた。

また2018年以来となる国際コーディネーター研修を再開。2024年10月19日から30日にかけて、インドネシア、マレーシア、ミャンマー、タイの4か国から、CFPコーディネーター6名を日本へ招聘した。愛知、岐阜、宮城、東京にて、森林の保全やモニタリング、子どもたちが森や自然に親しみ、豊かさを体感できるようなプログラムづくりについて学びを深めたほか、各地で報告会も開催した。参加者からは、「学んだ事例やアイデアを自国に応用したい」「同じ想いで努力し、課題に取り組む仲間と出会えてモチベーションがあがった」といった声が寄せられ、研修を通じてCFPへの想いを新たにしている様子が見えられた。既に現地の状況に応じた実践も始まっており、国を越えたさらなる連携と学びの継続が期待される。こうしたコーディネーターに対する研修会のほか、日本国内のオイスカ研修センターで学んでいる研修生に対しても講義や研修を行い、コーディネーター候補を育てていくことにも引き続き取り組んでいる。

④ 子どもたちによる発信と国を超えた交流

2024年度、「子供の森」計画では、国を越えて学び合い、発信する機会として、子ども親善大使事業と支援企業・団体による現地訪問型のボランティアツアーを実施した。いずれの取り組みも、活動の意義や成果を共有するだけでなく、立場や国を超えた相互理解と信頼関係の構築に大きな役割を果たしている。

5月15日から22日には、タイとインドネシアの活動地域から子ども親善大使と指導者、計6名を日本に招聘。北海道・大阪府・兵庫県を訪問し、学校交流（札幌市立厚別西小学校、札幌市立和光小学校）、日本における環境保全や防災教育の取り組みの視察、そして支援企業や自治体、地域住民を対象とした報告会を行った。5月19日に開催したトークライブでは、活動に取り組む子どもたちが、環境課題への気づきや活動の学びを直接語り、コーディネーターとともに地域の現実と取り組みの背景について紹介。会場およびオンラインで広く共有され、参加者からは「現場のリアルが伝わった」「子どもたちの表情や語りから、取り組みへの誇りや成長が感じられた」との声が寄せられた。帰国後、親善大使たちはそれぞれの学校や地域で活動報告を行い、同世代の仲間や地域住民に向けた発信の機会を持つなど、学びの循環を生み出している。

一方、日本から支援を行う企業・団体の関係者が、活動現場を訪れるボランティアツアーも複数実施。2024年度は複数の支援者がフィールドを訪れ、子どもたちとの交流、苗木の植栽や管理作業、現地スタッフとの意見交換などを通じて、プロジェクトの意義や現場の課題に対する理解を深めた。こうした交流の機会は、子どもたちやコーディネーターにとっても励みとなり、国や立場を越えたつながりと信頼関係を育む土台となっている。リアルな対話とふれあいを通じて、活動への共感と支援の輪が育まれている。

| 期間              | 支援企業・団体名         | 訪問先                      |
|-----------------|------------------|--------------------------|
| 2024年5月27日～6月5日 | 電力総連             | フィリピン（ヌエバビスカヤ）           |
| 2024年7月5日～7月9日  | 国土緑化推進機構         | フィジー（ビチレブ島）              |
| 2024年7月17日～19日  | 京セラ労働組合          | フィリピン（パラワン）              |
| 2024年8月3日～8月4日  | 前田建設工業           | タイ（チェンライ）                |
| 2024年8月20日～24日  | オイスカ国際活動促進国会議員連盟 | スリランカ（コロンボ、クルネーガラ、キャンディ） |



トークイベントにて、会場からの質問に答える子ども親善大使たち



国際コーディネーター研修にて、木々などの様子から、森の健全な状態を判断する「森の健康診断」を学ぶ

## 3. 2024年度「子供の森」計画 国別植林実績

| No. | 活動実施国名    | 2024年度  |              | 1991年～ 累積 |              | 参加校数<br>総計 | 2024年<br>新規<br>校数 |
|-----|-----------|---------|--------------|-----------|--------------|------------|-------------------|
|     |           | 植林本数    | 植林面積<br>(ha) | 累計本数      | 累計面積<br>(ha) |            |                   |
| 1   | バングラデシュ   | 700     | 0.44         | 92,538    | 73.11        | 242        | 3                 |
| 2   | 中国(内モンゴル) | 30,000  | 8.00         | 320,910   | 107.60       | 18         | 0                 |
| 3   | カンボジア     | 1,650   | 1.30         | 20,310    | 26.65        | 83         | 2                 |
| 4   | フィジー      | 7,430   | 2.52         | 824,358   | 604.00       | 71         | 3                 |
| 5   | インド       | 3,830   | 1.92         | 1,791,239 | 1246.57      | 2,183      | 43                |
| 6   | インドネシア    | 21,674  | 11.35        | 541,814   | 623.00       | 476        | 9                 |
| 7   | マレーシア     | 538     | 0.55         | 91,617    | 87.17        | 245        | 2                 |
| 8   | ミャンマー     | 712     | 0.28         | 45,616    | 20.62        | 95         | 1                 |
| 9   | フィリピン     | 16,597  | 4.41         | 3,001,091 | 1116.65      | 1,199      | 10                |
| 10  | パプアニューギニア | 342     | 1.40         | 85,147    | 58.58        | 93         | 3                 |
| 11  | スリランカ     | 4,260   | 3.41         | 522,197   | 436.96       | 367        | 3                 |
| 12  | タイ        | 2,612   | 3.56         | 691,284   | 453.32       | 240        | 5                 |
|     | *その他の国・地域 | 11,527  | 6.17         | 193,847   | 141.03       | 358        | 14                |
|     | 合計        | 101,872 | 45.31        | 8,221,968 | 4995.26      | 5,670      | 98                |

累計実績：37の国と地域の5,670校で実施

※上記データは2025年3月末時点。

参加校数は、新規植林実績のある学校に加え「子供の森」計画に参加した学校すべての総計

※ その他の国・地域：

アフガニスタン、アルゼンチン、アゼルバイジャン、ブラジル、エチオピア、ホンジュラス、香港、イスラエル、日本、ケニア、メキシコ、モンゴル、ネパール、パキスタン、パラオ、パレスチナ、パラグアイ、台湾、東ティモール、トンガ、UAE、アメリカ、ウルグアイ、ウズベキスタン、ベトナム



森林の伐採が進み、水源林が消えてはげ山になったふるさとの自然環境を改善するために植樹を進める（タイ・チェンライ県）

雨水貯蔵設備（写真左の緑色のタンク）を設置した学校では、タンクに貯まった水が菜園活動にも役立てられた（ミャンマー・ピョーボエ郡）

#### 4. 調査研究、専門家、指導員派遣

1)

期 間：2024年5月27日～6月5日

派遣国：フィリピン（マニラ、ヌエバビスカヤ）

派遣者：諸江葉月

内 容：電力総連第26回人間と地球のふれあいセミナー同行

2)

期 間：2024年7月2日～7月9日

派遣国：フィジー

派遣者：林久美子

内 容：国土緑化推進機構 緑の募金運営委員による評価同行

3)

期 間：2024年11月14日～11月23日

派遣国：インド

派遣者：中野悦子、木附文化

内 容：グローバルサミット参加、CFP校視察、業務調整

4)

期 間：2025年2月3日～2月11日

派遣国：フィリピン（アブラ、南イロコス）

派遣者：諸江葉月

内 容：CFP校視察、CFP関連業務調整等

### 3.人材育成事業

#### 総括

2024年度の国内3研修センター（中部・四国・西日本）が受け入れた研修生は国際ボランティア、農業一般、家政、農業指導、地域開発の各コースに16か国53名だった。かつて農業分野においてはフィリピンやマレーシア、そしてインドネシアが全体の3分の1以上を占めていたが本年度はそれぞれ2、3名であった。最近の傾向としてそれらの国々の急激な経済発展によるところが大きくIT分野等の技術発展は若者の関心が工業分野に向い農業への関心が薄らいできているのも理由の一つとして考えられる。ただ、未だ農業による国づくりに力をいれているパプアニューギニアや東ティモールなどは今後も国内研修センターへの研修生派遣に大きな期待を寄せている。こうした国々からの要請に応じていくためにも研修生受け入れのための財源確保は最優先されるべき課題でもあり今後も一層の取り組みが必要とされている。当初より研修費全額負担による研修派遣をおこなってきている東ティモールなどは日本側の理解者からの協力を得るなどの努力をしていることから今後新たな希望国においては一部派遣側負担による受け入れを条件とすることとしている。

また、研修期間については中部日本研修センターでの研修期間を1年から2年への変更した研修生が本年度初めて修了した。修了した研修生たちは一様に気候に左右される作物栽培の経験が違ふ条件下で2年続けて行うことができたことは大変有益だった。また日本語能力もさらに高まり研修内容も容易に理解でき、また地域の人達との交流において会話を通じた日本の歴史や文化等についてもスムーズに理解することができたことで日本への理解が一層深まったなどの高評価であった。ただ全ての研修生が長期を希望するわけではなく、事情によっては数か月のみを希望する研修生も出てくることも予想される。そうした要望に対して受入財源の厳しい国内研修センターとして柔軟な受け入れ対応が出来るか否かは今後の研修センター運営にも大きく影響していくことが予想される。

一方、2024年度の技能実習生の受入状況においては、新たに派遣を希望する国や実習生の数も増加しており本年度の実績では関西研修センターを中心にフィリピン、マレーシア、インドネシア、ミャンマー、ベトナムからの新規及び継続受入が合計5か国328名だった。日本の産業分野における人材不足の影響も反映して人材の受け入れを積極的に進めている企業等からの問い合わせも多く、研修センターで完結する一般研修とは逆の受入傾向である。また近年では技能実習終了後の特定技能への移行について実習生及び受入企業側からの希望が多く、毎年増加している。さらに会員企業ではIT分野等で「技術・人文知識・国際業務」ビザとして技術者受入の相談も増えてきているが法人としては定款上、特定技能同様、受託事業の受入対応に留めている。

こうした動きは今後さらに高まっていくこと予想されるが、そのためには研修センターの財源確保と同様、担当職員の確保と育成が最優先されるべき課題であることに変わりはない。また、技能実習生制度は代替制度として育成就労制度に変更されることが2024年6月、政府において改正法が可決・成立した。新制度については具体的内容について未だ確認ができていない点も多々あるが、法人として本制度に向けた対応策を随時進めている。最後に、研修センター支援連携サミットが関西研修センター主催で11月29日（金）にCIVI北梅田研修センターで実施された。「財政健全化10ヵ年計画」の進捗状況、人材確保の具体的取り組み、技能実習制度に代わる育成就労制度への対応等について本部の担当者、各研修センター所長、支部会長を始めとした関係者と協議した。活発な意見が交わされ、取り組むべき課題に対する共通認識が図れた。なお、これまで各研修センター持ち回りで毎年実施しており、今回で全ての研修センターで実施されたことになる。

1) 一般研修事業

① 研修員受入状況（国別および研修科目別）

| 国別<br>研修科目   | バングラデシュ | カンボジア | フィジー | インド | インドネシア | マレーシア | メキシコ | モンゴル | ミャンマー | パプア・ニュー・ギニア | フィリピン | 東ティモール | ウズベキスタン | チベット（インド） | スリランカ | ウクライナ | 合計 |
|--------------|---------|-------|------|-----|--------|-------|------|------|-------|-------------|-------|--------|---------|-----------|-------|-------|----|
| 国際<br>ボランティア |         |       |      | 1   |        |       |      |      |       |             |       |        |         |           |       | 1     | 2  |
| 農業<br>一般     | 1       | 2     | 4    | 4   | 3      | 2     |      | 2    | 1     | 3           | 3     | 2      | 1       | 2         | 3     |       | 33 |
| 家政           |         |       |      |     |        | 2     |      |      |       |             | 2     |        |         |           |       |       | 4  |
| 農業<br>指導     |         |       |      |     |        | 1     |      |      |       | 2           |       |        |         |           |       |       | 3  |
| 地域<br>開発     |         |       | 2    |     | 3      | 2     | 1    |      | 1     |             | 1     |        |         |           | 1     |       | 11 |
| 合計           | 1       | 2     | 6    | 5   | 6      | 7     | 1    | 2    | 2     | 5           | 6     | 2      | 1       | 2         | 4     | 1     | 53 |

② 本年度研修員氏名一覧

| No                     | 氏名  | 国名      | 科目(委託先)    | 期間             |
|------------------------|---|---------|------------|----------------|
| <b>中部日本研修センター(15名)</b> |   |         |            |                |
| 1                      | Mr. Babu Rahadul Hoque                                      | バングラデシュ | 農業一般       | 2023.3～2025.2  |
| 2                      | Mr. Thomas Sonu   | インド     | 国際協力ボランティア | 2023.3～2025.2  |
| 3                      | Mr. Chirakkal Abhishek                                      | インド     | 農業一般       | 2023.3～2025.2  |
| 4                      | Mr. Kayat Sean Yuji   | フィリピン   | 農業一般       | 2023.3～2025.2  |
| 5                      | Mr. Kaikmata Benjamin Navona                                | PNG     | 農業一般       | 2023.3～2025.2  |
| 6                      | Ms. AMANTE ANGEL HOPE                                       | フィリピン   | 家政         | 2023.8.2～      |
| 7                      | Mr. Jacob Francis   | PNG     | 農業指導       | 2024.1.30～     |
| 8                      | Mr. Saunivalu Patrick Tokatokavanua                         | フィジー    | 農業一般       | 2024.1～2024.10 |
| 9                      | Mr. Saidin Faizel   | マレーシア   | 農業一般       | 2024.1～2024.3  |
| 10                     | Ms. Plotianska Olesia                                       | ウクライナ   | 国際協力ボランティア | 2024.2～2025.2  |
| 11                     | Mr. Ariel Pratama Latief                                    | インドネシア  | 農業一般       | 2025.2.11～     |
| 12                     | Mr. Padikolly Shyam Sundar                                  | インド     | 農業一般       | 2025.2.12～     |
| 13                     | Mr. Dissanaya Mudiyansele Ramesh Gihan Senarathna           | スリランカ   | 農業一般       | 2025.2.12～     |
| 14                     | Mr. Lozano Jayson Pollante                                  | フィリピン   | 農業一般       | 2025.2.11～     |
| 15                     | Ms. Jovanha Mee Dato-On                                     | フィリピン   | 家政         | 2025.2.11～     |
| <b>四国研修センター(11名)</b>   |   |         |            |                |
| 16                     | Ms. Noer Amalia Aam   | インドネシア  | 地域開発       | 2024.1～2024.12 |
| 17                     | Ms. Vasiti Mause  | フィジー    | 地域開発       | 2024.1～2024.12 |
| 18                     | Ms. Severinus Sherlynie                                     | マレーシア   | 地域開発       | 2024.1～2024.12 |
| 19                     | Mr. Pyae Phyo Aung  | ミャンマー   | 地域開発       | 2024.1～失踪      |
| 20                     | Ms. Olaya Trujillo Nancy                                    | メキシコ    | 地域開発       | 2024.1～2024.12 |
| 21                     | Mr. Julius Joel Allyson                                     | マレーシア   | 地域開発       | 2024.1～2024.12 |
| 22                     | Mr. Saunivalu Rafaele                                       | フィジー    | 地域開発       | 2025.2～        |
| 23                     | Ms. Cholifatun Nurul Imani                                  | インドネシア  | 地域開発       | 2025.1～        |
| 24                     | Ms. Rathnayake Mudiyansele Anuththara Maduwanthi Rathnayake | スリランカ   | 地域開発       | 2025.1～        |
| 25                     | Mr. Bagaporo Gilbert Andres                                 | フィリピン   | 地域開発       | 2025.1～        |
| 26                     | Mr. Naufal Muhamad Arya                                     | インドネシア  | 地域開発       | 2025.1～        |
| <b>西日本研修センター(26名)</b>  |   |         |            |                |
| 27                     | Mr. Tokalau Josateki Naqovu                                 | フィジー    | 農業一般       | 2023.2～2024.10 |
| 28                     | Mr. Jifree Jonathan   | マレーシア   | 農業指導       | 2024.1～2025.3  |
| 29                     | Mr. Wasika Benny Sozu Muramuchsu                            | PNG     | 農業一般       | 2024.1～2025.3  |
| 30                     | Mr. Mati Wesley Rubenet                                     | PNG     | 農業一般       | 2024.1～2025.3  |
| 31                     | Ms. Babu Johnson Diya                                       | インド     | 農業一般       | 2024.1～2025.3  |
| 32                     | Ms. Sitanggang Calaudia                                     | インドネシア  | 農業一般       | 2024.1～2025.3  |
| 33                     | Mr. Hay Hakvichanouk  | カンボジア   | 農業一般       | 2024.1～2025.3  |
| 34                     | Mr. Tsering Sangyal   | チベット    | 農業一般       | 2024.1～2025.3  |
| 35                     | Mr. Alberto Sebastião                                       | 東ティモール  | 農業一般       | 2024.1～2025.3  |
| 36                     | Ms. Karolina Lenikauloa                                     | フィジー    | 農業一般       | 2024.2～2025.3  |
| 37                     | Mr. Culala Joyson El Magtalas                               | フィリピン   | 農業一般       | 2024.1～2025.3  |
| 38                     | Mr. Thant Zin Lin   | ミャンマー   | 農業一般       | 2024.1～        |
| 39                     | Mr. Gantumur Tsengelbayar                                   | モンゴル    | 農業一般       | 2024.1～2025.3  |
| 40                     | Mr. Dosnazarov Ilkham Ruslanovich                           | ウズベキスタン | 農業一般       | 2024.1～2025.3  |
| 41                     | Mr. Nandre Max  | PNG     | 農業指導       | 2025.1～        |
| 42                     | Ms. Jamlan Fadzrinah Ganti                                  | マレーシア   | 家政         | 2025.1～        |

|                     |   |        |      |                 |
|---------------------|---|--------|------|-----------------|
| 43                  | Ms. Angel Glory Payar   | マレーシア  | 農業一般 | 2025. 1～        |
| 44                  | Mr. Tawake Aseri  | FIJ    | 農業一般 | 2025. 2～        |
| 45                  | Ms. Ayumi Herlambang  | IDN    | 農業一般 | 2025. 1～        |
| 46                  | Ms. Thevar Kandiyil Aysha Nasir                                       | IND    | 農業一般 | 2025. 1～        |
| 47                  | Mr. Aht Poosen  | KHM    | 農業一般 | 2025. 1～        |
| 48                  | Mr. Kulasooriya Arachchige<br>Ishiwara Uthpala Bandara<br>Kulasooriya | スリランカ  | 農業一般 | 2025. 1～        |
| 49                  | Ms. Wijethunga Minsandi Tarini<br>Methanga                            | スリランカ  | 農業一般 | 2025. 1～        |
| 50                  | Mr. Bayarsaikhan Bayarmaa   | モンゴル   | 農業一般 | 2025. 1～        |
| 51                  | Mr. Gyaltzen Norbu  | チベット   | 農業一般 | 2025. 2～        |
| 52                  | Mr. Sergio Junior Siswo Ximenes<br>Valentino                          | 東ティモール | 農業一般 | 2025. 1～        |
| <b>関西研修センター(1名)</b> |   |        |      |                 |
| 53                  | Ms. Maxivelynn Elvia Binti<br>Marosin                                 | マレーシア  | 家政   | 2022. 5～2024. 6 |

## 2) 技能実習事業

### ① 農業技能

| No                     | 氏名                               | 国名     | 期間                |
|------------------------|----------------------------------|--------|-------------------|
| <b>耕種農業(施設園芸) 7名</b>   |                                  |        |                   |
| 1                      | Mr. Doculan Meljun Viernes       | フィリピン  | 2022. 10～2025. 10 |
| 2                      | Mr. Deel Bierron Bin Donny       | フィリピン  | 2023. 3～2026. 3   |
| 3                      | Mr. Calvin Madilis               | フィリピン  | 2023. 3～2026. 3   |
| 4                      | Ms. Deska Juliana Putri          | インドネシア | 2023. 4. ～2026. 4 |
| 5                      | Ms. Indah Uswatun Hasanah        | インドネシア | 2023. 9～2026. 9   |
| 6                      | Mr. Reyes Rayon De Aro           | フィリピン  | 2023. 12～2026. 12 |
| 7                      | Ms. Nensy Herlyn Hitipeuw        | インドネシア | 2025. 1～2028. 1   |
| <b>耕種農業(畑作・野菜) 36名</b> |                                  |        |                   |
| 8                      | Mr. Ainur Rasyid                 | インドネシア | 2019. 4～2024. 6   |
| 9                      | Mr. Beboso Geneil Aurea          | フィリピン  | 2019. 7～2024. 9   |
| 10                     | Mr. Cordero Joemar Sison         | フィリピン  | 2019. 7～2024. 9   |
| 11                     | Mr. Borres Elizier Dula          | フィリピン  | 2019. 7～2024. 9   |
| 12                     | Mr. Mina Jeffrey Macasiray       | フィリピン  | 2019. 7～2024. 9   |
| 13                     | Mr. Rifqi Hanif                  | インドネシア | 2019. 9～2024. 10  |
| 14                     | Mr. Reyes Marlo Jose             | フィリピン  | 2022. 3～2024. 4   |
| 15                     | Mr. Wardi                        | インドネシア | 2022. 4～2024. 4   |
| 16                     | Mr. Mohd Fadzili Bin Rahman      | マレーシア  | 2022. 4～2025. 4   |
| 17                     | Mr. Cayley Josip                 | マレーシア  | 2022. 4～2025. 4   |
| 18                     | Ms. Anne Thien                   | マレーシア  | 2022. 4～2025. 4   |
| 19                     | Ms. Dilaila Donny                | マレーシア  | 2022. 4～2025. 4   |
| 20                     | Mr. Gaylan Rene Boy Membrano     | フィリピン  | 2022. 4～2025. 4   |
| 21                     | Mr. Gilboligaya Arnel Arriesgado | フィリピン  | 2022. 4～2025. 4   |
| 22                     | Mr. Aquino Mark Anthony Adame    | フィリピン  | 2022. 4～2025. 4   |
| 23                     | Mr. Ballo Daryl Keitt Laureta    | フィリピン  | 2022. 4～2025. 4   |
| 24                     | Mr. Sylvania Dexter Carbonel     | フィリピン  | 2022. 5～2024. 5   |
| 25                     | Mr. Sodikin                      | インドネシア | 2022. 5～2025. 5   |
| 26                     | Mr. Akbar Robi Pradana           | インドネシア | 2022. 5～2027. 5   |
| 27                     | Mr. Mata Jaymar Arsenio          | フィリピン  | 2022. 12～2024. 12 |
| 28                     | Mr. Allen Vanuary De Guzman      | フィリピン  | 2023. 5～2026. 5   |
| 29                     | Ms. Caballero Elisallen Canete   | フィリピン  | 2023. 9～2026. 5   |
| 30                     | Mr. Muhamad Hasbi Ashshidieq     | インドネシア | 2023. 9～2026. 5   |

|                     |                                       |        |                 |
|---------------------|---------------------------------------|--------|-----------------|
| 31                  | Mr. Muhammad Ramadhan Hidayatullah    | インドネシア | 2023.9～2026.5   |
| 32                  | Mr. Augustine J Apin                  | マレーシア  | 2023.9～2026.5   |
| 33                  | Mr. Dioso Joemil Apolinario           | フィリピン  | 2023.10～2026.10 |
| 34                  | Mr. Cepida Edgardo Jr Domingo         | フィリピン  | 2023.10～2026.10 |
| 35                  | Mr. Benigay Ramie Jr Gemoya           | フィリピン  | 2023.10～2026.10 |
| 36                  | Mr. Muhamad Imron                     | インドネシア | 2024.1～2027.1   |
| 37                  | Mr. Jalbuena Arjay Reyes              | フィリピン  | 2024.2～2027.2   |
| 38                  | Mr. Cabriga Dexter Orno               | フィリピン  | 2024.2～2027.2   |
| 39                  | Ms. Thet Thet Lwin                    | ミャンマー  | 2024.3～2027.3   |
| 40                  | Mr. Callejo Mark Anthony Silario      | フィリピン  | 2024.4～2026.4   |
| 41                  | Mr. Trube Divino Marcellana           | フィリピン  | 2024.4～2026.4   |
| 42                  | Mr. Earl russel hezron arickson gaban | マレーシア  | 2024.4～2027.4   |
| 43                  | Ms. Nyo thein                         | ミャンマー  | 2024.11～2027.11 |
| <b>耕種農業(果樹) 3名</b>  |                                       |        |                 |
| 44                  | Mr. Muhammad Rizki                    | インドネシア | 2023.9～2026.9   |
| 45                  | Mr. M Danda Juliansyah                | インドネシア | 2023.9～2026.9   |
| 46                  | Mr. Muhamad Ranzi                     | インドネシア | 2024.1～2027.1   |
| <b>畜産農業(養鶏) 1名</b>  |                                       |        |                 |
| 47                  | Mr. Diwayan jonar almueda             | フィリピン  | 2024.7～2027.7   |
| <b>畜産農業(養豚) 14名</b> |                                       |        |                 |
| 48                  | Mr. Barreyro Adrian Hunter Millamina  | フィリピン  | 2022.3～2027.6   |
| 49                  | Mr. Barreras Raul Jr. Ballesta        | フィリピン  | 2022.3～2027.6   |
| 50                  | Mr. Magahis Rentz Raniel Cuervo       | フィリピン  | 2022.4～2025.4   |
| 51                  | Mr. Oriasel Arnold Palad              | フィリピン  | 2022.4～2025.4   |
| 52                  | Mr. Ying Hkaw                         | ミャンマー  | 2022.5～2025.5   |
| 53                  | Mr. Linn Htet Aung                    | ミャンマー  | 2022.5～2025.5   |
| 54                  | Mr. Villastiqui Renand                | フィリピン  | 2022.8～2025.8   |
| 55                  | Mr. Favila Alexis Plurad              | フィリピン  | 2022.8～2025.8   |
| 56                  | Mr. Sylvester Lewis                   | マレーシア  | 2022.11～2024.11 |
| 57                  | Mr. Zayar Soe                         | ミャンマー  | 2022.11～2024.11 |
| 58                  | Mr. Baula Kliford Bicera              | フィリピン  | 2024.2～2027.2   |
| 59                  | Mr. Baldemor Racie Jay Alejandro      | フィリピン  | 2023.6～2025.6   |
| 60                  | Mr. Billedo Lorenzo Sanidad           | フィリピン  | 2023.6～2025.6   |
| 61                  | Mr. Barreras jordan ballesta          | フィリピン  | 2024.7～2027.7   |
| <b>畜産農業(酪農) 5名</b>  |                                       |        |                 |
| 62                  | Mr. Lahagan Lee Ben Gumulom           | フィリピン  | 2022.3～2025.9   |
| 63                  | Ms. Briosos Andrea Domingo            | フィリピン  | 2022.12～2025.12 |
| 64                  | Ms. Ita Triyanti                      | インドネシア | 2023.7～2026.7   |
| 65                  | Mr. Wangdisan Flobert Reyes           | フィリピン  | 2023.12～2026.12 |
| 66                  | Ms. Diah nur asih                     | インドネシア | 2025.1～2028.1   |

【実習科目及び国別研修生数】

| 実習科目 \ 国別   | インドネシア | マレーシア | ミャンマー | フィリピン | ベトナム | 合計 |
|-------------|--------|-------|-------|-------|------|----|
| 耕種農業（施設園芸）  | 3      |       |       | 4     |      | 7  |
| 耕種農業（畑作・野菜） | 8      | 6     | 2     | 20    |      | 36 |
| 耕種農業（果樹）    | 3      |       |       |       |      | 3  |
| 畜産農業（養鶏）    |        |       |       | 1     |      | 1  |
| 畜産農業（養豚）    |        | 1     | 3     | 10    |      | 14 |
| 畜産農業（酪農）    | 2      |       |       | 3     |      | 5  |
| 合計          | 16     | 7     | 5     | 38    |      | 66 |

② 工業及び介護技能

| No                | 氏名  | 国名     | 期間              |
|-------------------|---|--------|-----------------|
| <b>機械保全 5名</b>    |   |        |                 |
| 67                | Mr. Marmeto Neil James Barbosa            | フィリピン  | 2019.3～2024.5   |
| 68                | Mr. Singuelas Eric John Fortuno           | フィリピン  | 2019.3～2024.5   |
| 69                | Mr. Alcoriza Daniel Jonas Nepomuceno      | フィリピン  | 2022.4～2027.4   |
| 70                | Mr. Muhammad Rasydan Bin Roslan           | マレーシア  | 2023.3～2026.3   |
| 71                | Mr. Muhammad Na Im Bin Mohd Yasim         | マレーシア  | 2023.3～2026.3   |
| <b>建設機械施工 22名</b> |   |        |                 |
| 72                | Mr. Angga Muria Pratama                   | インドネシア | 2022.4～2025.4   |
| 73                | Mr. Muhammad Faiz Fakhri Bin Zahari       | マレーシア  | 2022.4～2025.4   |
| 74                | Mr. Darsono                               | インドネシア | 2022.5～2025.5   |
| 75                | Mr. Rudi Hartono                          | インドネシア | 2022.5～2025.5   |
| 76                | Mr. Muhammad Haziqurhakim Bin Md Sudarman | マレーシア  | 2022.5～2025.5   |
| 77                | Mr. Eksan Saputra                         | インドネシア | 2023.1～2026.1   |
| 78                | Mr. Cecep Kurniawan                       | インドネシア | 2023.7～2026.7   |
| 79                | Mr. Taufik Rahmawan                       | インドネシア | 2023.7～2026.7   |
| 80                | Mr. Muhammad Zafri Bin Mohd Zamri         | マレーシア  | 2023.9～2026.9   |
| 81                | Mr. Mohamad Afiq Aiman Bin Azemi          | マレーシア  | 2023.9～2026.9   |
| 82                | Mr. Durahman                              | インドネシア | 2023.10～2026.10 |
| 83                | Mr. Planas Belmor Jr Nuyda                | インドネシア | 2023.4～2025.4   |
| 84                | Mr. Galih Yatna Putra                     | インドネシア | 2023.10～2026.10 |
| 85                | Mr. Yohandi Rahmat                        | インドネシア | 2023.12～2026.12 |
| 86                | Mr. Muhamad ripaldi muslim                | インドネシア | 2024.5～2027.5   |
| 87                | Mr. Arya maulana rachman                  | インドネシア | 2025.1～2028.1   |
| 88                | Mr. Fito firmansyah                       | インドネシア | 2025.1～2028.1   |
| 89                | Mr. Pajar padilah                         | インドネシア | 2025.1～2028.1   |
| 90                | Mr. Rian harmanda                         | インドネシア | 2025.1～2028.1   |
| 91                | Mr. Muhammad khalid                       | インドネシア | 2025.2～2028.2   |
| 92                | Mr. Novel suninggreat                     | インドネシア | 2025.2～2028.2   |
| 93                | Mr. Alif haiman bin mohd norhasni         | マレーシア  | 2025.3～2028.3   |

| 塗装 7名        |   |        |                 |
|--------------|---|--------|-----------------|
| 94           | Mr. Luna Benjie Moring                          | フィリピン  | 2019.4～2024.5   |
| 95           | Mr. Flores Angelo Abit                          | フィリピン  | 2019.4～2024.5   |
| 96           | Mr. Ocumen Michael Palara                       | フィリピン  | 2019.7～2024.9   |
| 97           | Mr. Garcia Francis Dale Batadlan                | フィリピン  | 2022.4～2025.4   |
| 98           | Mr. Balbinta Kent Cristian Senador              | フィリピン  | 2022.4～2025.4   |
| 99           | Mr. De Guzman Bernabe Jr Botanes                | フィリピン  | 2022.12～2025.12 |
| 100          | Mr. Valera Ryan Billedo                         | フィリピン  | 2022.12～2025.12 |
| 冷凍空調和機器施工 8名 |   |        |                 |
| 101          | Mr. Mohamad Syazni Mizan                        | マレーシア  | 2022.5～2025.5   |
| 102          | Mr. Mohd Afifi Bin Md Jamil                     | マレーシア  | 2022.11～2024.11 |
| 103          | Mr. Ahmad Syawalluddin Bin Zulkafli             | マレーシア  | 2023.4～2026.4   |
| 104          | Mr. Mohammad Akmal Bin Mohd Kamil               | マレーシア  | 2023.9～2026.9   |
| 105          | Mr. Nik Muhammad Fauzan Naim Bin Nor Azan       | マレーシア  | 2023.4～2025.4   |
| 106          | Mr. Nik Mohamad Syafiq Haikal Bin Nik Al Muhsai | マレーシア  | 2023.11～2026.11 |
| 107          | Mr. Mohammad Afiq Bin Mohd Shafie               | マレーシア  | 2023.11～2026.11 |
| 108          | Mr. Amir hamzah bin nazarudin                   | マレーシア  | 2025.3～2028.3   |
| 溶接 5名        |   |        |                 |
| 109          | Mr. Samia Arbnel Aguelera                       | フィリピン  | 2019.4～2024.5   |
| 110          | Mr. Clemente Ian Jayo Noceja                    | フィリピン  | 2019.4～2024.5   |
| 111          | Mr. Menor Rudner Laurente                       | フィリピン  | 2019.11～2025.2  |
| 112          | Mr. Fernandez Aljun Java                        | フィリピン  | 2022.3～2027.3   |
| 113          | Mr. Salbibia Johnnel Pabale                     | フィリピン  | 2022.3～2027.3   |
| 鉄筋施工 11名     |   |        |                 |
| 114          | Mr. Talingdan Jerwin Baisa                      | フィリピン  | 2019.1～2024.4   |
| 115          | Mr. Babida Jimar Berona                         | フィリピン  | 2019.1～2024.4   |
| 116          | Mr. Garcia Dickson Silvania                     | フィリピン  | 2019.1～2024.4   |
| 117          | Mr. Benigay Bryan Pioquinto                     | フィリピン  | 2022.3～2027.3   |
| 118          | Mr. Quirogo Jackson Lanutan                     | フィリピン  | 2022.3～2027.3   |
| 119          | Mr. Ursula Ralph Anthony Caseria                | フィリピン  | 2022.3～2027.3   |
| 120          | Mr. Acosta Neo Daguno                           | フィリピン  | 2022.12～2025.12 |
| 121          | Mr. Onias Ronel Tilar                           | フィリピン  | 2022.12～2025.12 |
| 122          | Mr. Salcedo Andy Basilio                        | フィリピン  | 2022.12～2025.12 |
| 123          | Mr. Fernandez Nick Jamaybay                     | フィリピン  | 2023.5～2026.5   |
| 124          | Mr. Garcia Jhondel Garcia                       | フィリピン  | 2023.5～2025.5   |
| 配管 2名        |   |        |                 |
| 125          | Mr. Tanjusay christian selebio                  | フィリピン  | 2024.10～2027.10 |
| 126          | Mr. Muhammad shahid bin norasmadi               | マレーシア  | 2025.3～2028.3   |
| 型枠施工 4名      |   |        |                 |
| 127          | Mr. Muhammad Nur Aiman Bin Mohd Sani            | マレーシア  | 2022.4～2025.4   |
| 128          | Mr. Mohd Firdaus Safwan Bin Musinin             | マレーシア  | 2022.7～2024.7   |
| 129          | Mr. Muhammad Zamri Bin Aziz                     | マレーシア  | 2022.11～2025.11 |
| 130          | Mr. Muhammad ariff nazmi bin ruziham            | マレーシア  | 2025.3～2028.3   |
| 建具製作 24名     |   |        |                 |
| 131          | Mr. Angriawan Deny Alfiantoro                   | インドネシア | 2019.3～2024.5   |
| 132          | Mr. Fahrul                                      | インドネシア | 2019.3～2024.5   |
| 133          | Mr. Lewi Gulid Sambonu                          | インドネシア | 2019.3～2024.5   |

|                  |   |        |                 |
|------------------|---|--------|-----------------|
| 134              | Mr. Muhammad Khaidir Muhammad Rasyid              | インドネシア | 2019.3～2024.5   |
| 135              | Mr. Ahmad Fatoni                                  | インドネシア | 2022.5～2025.5   |
| 136              | Mr. Anton   | インドネシア | 2022.5～2025.5   |
| 137              | Mr. Yoga Wahyu Putra                              | インドネシア | 2022.5～2025.5   |
| 138              | Mr. Maulana Ariel Syaputra                        | インドネシア | 2022.5～2025.5   |
| 139              | Mr. Moch Salam Azidan                             | インドネシア | 2022.11～2025.11 |
| 140              | Mr. Nursiddiq Widana Al Faruq                     | インドネシア | 2022.11～2025.11 |
| 141              | Mr. Hamzah Nurzaman                               | インドネシア | 2022.11～2025.11 |
| 142              | Mr. Sudianto                                      | インドネシア | 2022.11～2025.11 |
| 143              | Mr. Agi Paturohman                                | インドネシア | 2023.4～2026.4   |
| 144              | Mr. Bimo Satriyo                                  | インドネシア | 2023.4～2026.4   |
| 145              | Mr. Deni Abdul Gani                               | インドネシア | 2023.4～2026.4   |
| 146              | Mr. Ikhsan Mukhlis Firmansyah                     | インドネシア | 2023.4～2026.4   |
| 147              | Mr. Rasyid Saefudin                               | インドネシア | 2023.4～2026.4   |
| 148              | Mr. Muhamad Althaf Ghani Basyarodi                | インドネシア | 2024.2～2027.2   |
| 149              | Mr. Ircam Hariyanto                               | インドネシア | 2024.2～2027.2   |
| 150              | Mr. Setiyo Aji                                    | インドネシア | 2024.2～2027.2   |
| 151              | Mr. Gibran Sava Raditya                           | インドネシア | 2024.2～2027.2   |
| 152              | Mr. Aldi fradifta pirmansyah                      | インドネシア | 2025.2～2028.2   |
| 153              | Mr. Supiyandi                                     | インドネシア | 2025.2～2028.2   |
| 154              | Mr. Rizky kusuma                                  | インドネシア | 2025.2～2028.2   |
| <b>自動車整備 36名</b> |   |        |                 |
| 155              | Mr. Mohamad Farhan Bin Nasarudin                  | マレーシア  | 2020.11～2026.5  |
| 156              | Mr. Muhammad Fazalie Bin Namberom                 | マレーシア  | 2020.11～2026.5  |
| 157              | Mr. Andrada Jeff Batolina                         | フィリピン  | 2022.4～2025.4   |
| 158              | Mr. Tolentino Ruel Jr. Benigay                    | フィリピン  | 2022.4～2025.4   |
| 159              | Mr. Muhamad Sazali Bin Salimin                    | マレーシア  | 2022.4～2025.4   |
| 160              | Mr. Muhammad Sharir Bin Muhammad Azim             | マレーシア  | 2022.4～2025.4   |
| 161              | Mr. Muhammad Zulkifli Bin Adnan                   | マレーシア  | 2022.4～2025.4   |
| 162              | Mr. Muhammad Ariff Danish Bin Muhammad Afandi     | マレーシア  | 2022.4～2025.4   |
| 163              | Mr. Adam Syahrin Bin Nordin                       | マレーシア  | 2022.4～2025.4   |
| 164              | Mr. Muhammad Ariff Bin Rosli                      | マレーシア  | 2022.4～2025.4   |
| 165              | Mr. Muhammad Solehin Bin Ahmad Zakir              | マレーシア  | 2022.4～2025.4   |
| 166              | Mr. Radin Muhammad Asyraf Bin Radin Mohd Zulkifli | マレーシア  | 2022.5～2025.5   |
| 167              | Mr. Pesquera Christian Dioso                      | フィリピン  | 2022.7～2025.7   |
| 168              | Mr. Lim Sheng Shi                                 | マレーシア  | 2022.8～2025.8   |
| 169              | Mr. Mohammad Ashraf Bin Mohammad Wajidi           | マレーシア  | 2022.8～2025.8   |
| 170              | Mr. Ilias Illyasa Bin Mohd Isa                    | マレーシア  | 2022.8～2025.8   |
| 171              | Mr. Quintos Cristopher Valera                     | フィリピン  | 2022.10～2025.10 |
| 172              | Mr. Muhammad Nafis Bin Abdul Aziz                 | マレーシア  | 2022.12～2024.12 |
| 173              | Mr. Ahmad Imran Bin Ibrahim                       | マレーシア  | 2023.1～2026.1   |
| 174              | Mr. Donnathaniel Jules                            | マレーシア  | 2023.1～2026.1   |
| 175              | Mr. Muhammad Nizam Bin Sopri                      | マレーシア  | 2023.8～2026.8   |
| 176              | Mr. Sokhipol Azam Bin Sokhipol Akmam              | マレーシア  | 2023.8～2026.8   |
| 177              | Mr. Ravin Al Jeyaraman                            | マレーシア  | 2023.8～2026.8   |
| 178              | Mr. Kelvin Chooi Loong Fatt                       | マレーシア  | 2023.8～2026.8   |
| 179              | Mr. Muhammad Affan Amierul Bin Yusriza            | マレーシア  | 2023.9～2026.9   |

|                 |  |        |                 |
|-----------------|--|--------|-----------------|
| 180             | Mr. Ahmad Zaki Bin Abdul Latif           | マレーシア  | 2023.9～2026.9   |
| 181             | Mr. Luqman Nur Hakim Bin Seth            | マレーシア  | 2024.1～2027.1   |
| 182             | Mr. MUHAMAD AKIF BIN ABDUL MAJAD         | マレーシア  | 2024.1～2027.1   |
| 183             | Mr. MOHAMAD IRFAN BIN SULAIMAN           | マレーシア  | 2024.1～2027.1   |
| 184             | Mr. Millare jovanie adres                | フィリピン  | 2024.6～2027.6   |
| 185             | Mr. Mohd syufian bin siron               | マレーシア  | 2024.8～2027.8   |
| 186             | Mr. Muhamad bin ghazali                  | マレーシア  | 2024.8～2027.8   |
| 187             | Mr. Muhammad azamuddin bin mohamad mohet | マレーシア  | 2024.8～2027.8   |
| 188             | Mr. Muhammad faizmi as shauqi bin naim   | マレーシア  | 2024.8～2027.8   |
| 189             | Mr. Muhammad zaffri bin muszaffar        | マレーシア  | 2024.9～2027.9   |
| 190             | Mr. Aidiel danniel bin asfalizainI       | マレーシア  | 2024.9～2027.9   |
| <b>工業包装 33名</b> |  |        |                 |
| 191             | Ms. Factor Maria Divina Rano             | フィリピン  | 2018.9～2024.6   |
| 192             | Ms. Tuanquin Marydel Dexie Pilor         | フィリピン  | 2018.9～2024.6   |
| 193             | Ms. Batalon Amelia Bo                    | フィリピン  | 2020.1～2025.3   |
| 194             | Ms. Vicente Milagros Gandeza             | フィリピン  | 2020.1～2025.3   |
| 195             | Ms. Pajarillo Brenda Eugenio             | フィリピン  | 2020.1～2025.4   |
| 196             | Ms. Banez Jenniefer Teneza               | フィリピン  | 2020.1～2025.4   |
| 197             | Ms. Blaza Elizabeth Benauro              | フィリピン  | 2020.1～2025.5   |
| 198             | Ms. Besas Maria Jessica Testado          | フィリピン  | 2020.1～2025.5   |
| 199             | Ms. Daowan Edlyn Bernadette Edwin        | フィリピン  | 2022.12～2025.12 |
| 200             | Ms. Millare Laira Fei Laureta            | フィリピン  | 2022.12～2025.12 |
| 201             | Ms. Barbon Cherrylaine Alagao            | フィリピン  | 2022.12～2025.12 |
| 202             | Ms. Borong Jessa Mae Bisquera            | フィリピン  | 2022.12～2025.12 |
| 203             | Mr. Elpa Mark Bernos                     | フィリピン  | 2023.2～2026.2   |
| 204             | Mr. Anical Dario Alunday                 | フィリピン  | 2023.2～2026.2   |
| 205             | Mr. Rahmat Ardiansyah                    | インドネシア | 2023.4～2027.4   |
| 206             | Mr. Randika Sejati                       | インドネシア | 2023.4～2027.4   |
| 207             | Mr. Gilang Judanto Ibnu Adytiyar         | インドネシア | 2023.4～2027.4   |
| 208             | Ms. Benemerito Cristine Joy Bringas      | フィリピン  | 2023.7～2026.7   |
| 209             | Ms. Callejo Maybelle Silario             | フィリピン  | 2023.7～2026.7   |
| 210             | Ms. Reyes Julie Ann De Aro               | フィリピン  | 2023.7～2026.7   |
| 211             | Ms. Bosque Evelyn Balayan                | フィリピン  | 2023.7～2026.7   |
| 212             | Ms. Montilla Kim Camile Martinez         | フィリピン  | 2023.7～2026.7   |
| 213             | Ms. Montorio Jessa Ta A                  | フィリピン  | 2023.7～2026.7   |
| 214             | Ms. Fernandez GERALYN Samillano          | フィリピン  | 2023.7～2026.7   |
| 215             | Ms. Valera paula tarona                  | フィリピン  | 2024.6～2027.6   |
| 216             | Ms. Bacarisa deceree laoagan             | フィリピン  | 2024.6～2027.6   |
| 217             | Ms. Blaza honey may blanes               | フィリピン  | 2024.6～2027.6   |
| 218             | Ms. Palos jelly anne osorio              | フィリピン  | 2024.6～2027.6   |
| 219             | Ms. Casigay lovely may claro             | フィリピン  | 2024.6～2027.6   |
| 220             | Ms. Viado norshalene bragas              | フィリピン  | 2024.6～2027.6   |
| 221             | Ms. Tuanquin princess dianne baldemor    | フィリピン  | 2024.6～2027.6   |
| 222             | Ms. Marquez princes diane cabalbal       | フィリピン  | 2024.6～2027.6   |
| 223             | Ms. Reyes esperanza alagao               | フィリピン  | 2024.12～2027.12 |
| <b>射出成型 6名</b>  |  |        |                 |
| 224             | Mr. Arquion Allen Kris Fernandez         | フィリピン  | 2019.2～2024.4   |

|                     |   |        |                 |
|---------------------|---|--------|-----------------|
| 225                 | Mr. Magsanay Mark Anthony Marabe        | フィリピン  | 2019.2～2024.4   |
| 226                 | Mr. Revilla John Carlo Garganta         | フィリピン  | 2019.2～2024.4   |
| 227                 | Mr. Bermillo Jeremi John Moscoca        | フィリピン  | 2024.2～2027.2   |
| 228                 | Mr. Carrera John Emmanuell Fernandez    | フィリピン  | 2024.2～2027.2   |
| 229                 | Mr. Larisca junilon patriarca           | フィリピン  | 2024.5～2027.5   |
| <b>鉄工 23名</b>       |   |        |                 |
| 230                 | Mr. Alfin Musthofa                      | インドネシア | 2022.5～2025.5   |
| 231                 | Mr. Burhanudin Rahman                   | インドネシア | 2022.5～2025.5   |
| 232                 | Mr. Rahardi Firman Halim                | インドネシア | 2022.5～2025.5   |
| 233                 | Mr. As Ari                              | インドネシア | 2022.5～2025.5   |
| 234                 | Mr. Ahmad Toha                          | インドネシア | 2022.5～2025.5   |
| 235                 | Mr. Emul Mulyana                        | インドネシア | 2022.11～2025.11 |
| 236                 | Mr. Mahatma Damar Jati Supajar          | インドネシア | 2022.11～2025.11 |
| 237                 | Mr. Deni Fajri Setiawan                 | インドネシア | 2023.4～2027.4   |
| 238                 | Mr. Rizki Virdaus                       | インドネシア | 2023.4～2027.4   |
| 239                 | Mr. M Zanky Dausti                      | インドネシア | 2023.4～2027.4   |
| 240                 | Mr. Yoga Prayogo                        | インドネシア | 2024.2～2027.2   |
| 241                 | Mr. Rahmawan Hidayat                    | インドネシア | 2024.2～2027.2   |
| 242                 | Mr. Dimas Fajar Ramadhan                | インドネシア | 2024.2～2027.2   |
| 243                 | Mr. Alif Dityas Pangestu                | インドネシア | 2023.6～2025.6   |
| 244                 | Mr. Abdul Rajak Ipaenin                 | インドネシア | 2023.6～2025.6   |
| 245                 | Mr. Ferdinand al jabbar suseno          | インドネシア | 2024.7～2027.7   |
| 246                 | Mr. Rama yulio                          | インドネシア | 2024.7～2027.7   |
| 247                 | Mr. Syahril ranggadika dwiyanto         | インドネシア | 2024.10～2027.10 |
| 248                 | Mr. Rendi mauladani                     | インドネシア | 2024.10～2027.10 |
| 249                 | Mr. Akbar jihad                         | インドネシア | 2024.10～2027.10 |
| 250                 | Mr. Aladin jocel bulacan                | フィリピン  | 2024.12～2027.12 |
| 251                 | Mr. Batoon samuel junior belisario      | フィリピン  | 2024.12～2027.12 |
| 252                 | Mr. Sequerra jay jay billedo            | フィリピン  | 2024.12～2027.12 |
| <b>防水施工 3名</b>      |   |        |                 |
| 253                 | Mr. Paat Junel Babida                   | フィリピン  | 2023.6～2025.6   |
| 254                 | Mr. Domingo Mark Hona                   | フィリピン  | 2023.5～2026.5   |
| 255                 | Mr. Molina Harold Balagulan             | フィリピン  | 2023.5～2026.5   |
| <b>牛豚食肉処理加工業 2名</b> |   |        |                 |
| 256                 | Ms. SANCIO SHIENA JAGOCOY               | フィリピン  | 2023.9～2026.9   |
| 257                 | Ms. MALUNES MAY ERICA CORREA            | フィリピン  | 2023.9～2026.9   |
| <b>介護 32名</b>       |   |        |                 |
| 258                 | Ms. Benoyaco Eve Concepcion Dinulung    | フィリピン  | 2022.4～2025.4   |
| 259                 | Ms. Dumandan Alexandra Claudette Santos | フィリピン  | 2022.4～2025.4   |
| 260                 | Mr. Junas Jasper Junsay                 | フィリピン  | 2022.6～2025.6   |
| 261                 | Ms. Venzon Marissa Veniegas             | フィリピン  | 2022.6～2025.6   |
| 262                 | Ms. Campos Christlyn Palmos             | フィリピン  | 2022.6～2025.6   |
| 263                 | Ms. Espenorio Winielyn Atadora          | フィリピン  | 2022.6～2025.6   |
| 264                 | Ms. Javier Jovelyn Montano              | フィリピン  | 2022.6～2025.6   |
| 265                 | Ms. Millan Aiza Gladys Cordova          | フィリピン  | 2022.6～2025.6   |
| 266                 | Mr. Ocura Abe Raph Desuyo               | フィリピン  | 2022.6～2025.6   |
| 267                 | Ms. Villarosa Jeza Sagang               | フィリピン  | 2022.6～2025.6   |

|              |  |        |                 |
|--------------|--|--------|-----------------|
| 268          | Ms. Cacnio Hazel Dawn Corbeta              | フィリピン  | 2022.6～2025.6   |
| 269          | Ms. July Lin Lin                           | ミャンマー  | 2022.7～2025.7   |
| 270          | Ms. May Mie Aung                           | ミャンマー  | 2022.7～2025.7   |
| 271          | Ms. Mi Yadana Mon                          | ミャンマー  | 2022.7～2025.7   |
| 272          | Ms. Soe Soe Mon                            | ミャンマー  | 2022.7～2025.7   |
| 273          | Ms. Yin Mon San                            | ミャンマー  | 2022.7～2025.7   |
| 274          | Ms. Khadijah Uswah Mujahida Akbari         | インドネシア | 2022.7～2025.7   |
| 275          | Ms. Ghina Septiany Nurul Wahdah            | インドネシア | 2022.7～2025.7   |
| 276          | Ms. Nonika                                 | インドネシア | 2022.7～2025.7   |
| 277          | Ms. Puspita Surbakti                       | インドネシア | 2023.4～2026.4   |
| 278          | Ms. Melisa Simanjuntak                     | インドネシア | 2023.4～2026.4   |
| 279          | Ms. Wah Wah Aung                           | ミャンマー  | 2023.11～2026.11 |
| 280          | Ms. Thae Mar Htwe                          | ミャンマー  | 2023.11～2026.11 |
| 281          | Ms. Aye Yadanar Moe                        | ミャンマー  | 2023.11～2026.11 |
| 282          | Ms. Du Ay Korine May Ortega                | フィリピン  | 2024.3～2027.3   |
| 283          | Ms. Ei phyu                                | ミャンマー  | 2024.5～2027.5   |
| 284          | Ms. Hein moh lwin                          | ミャンマー  | 2024.5～2027.5   |
| 285          | Ms. Khin aye                               | ミャンマー  | 2024.5～2027.5   |
| 286          | Ms. Poe ei san                             | ミャンマー  | 2024.5～2027.5   |
| 287          | Ms. Swe swe htet                           | ミャンマー  | 2024.5～2027.5   |
| 288          | Ms. Zin mar phyo                           | ミャンマー  | 2024.5～2027.5   |
| 289          | Ms. Irma yunita dewi                       | インドネシア | 2024.11～2027.11 |
| <b>とび30名</b> |  |        |                 |
| 290          | Mr. Mendoza Jomar Rico                     | フィリピン  | 2022.3～2027.6   |
| 291          | Mr. Revilla John Vergel Garganta           | フィリピン  | 2022.3～2027.6   |
| 292          | Mr. Nguyen Quang Ninh                      | ベトナム   | 2022.5～2025.5   |
| 293          | Mr. Bui Van Tuan                           | ベトナム   | 2022.5～2025.5   |
| 294          | Mr. Nguyen Canh Gioi                       | ベトナム   | 2022.5～2025.5   |
| 295          | Mr. Muhammad Jaini                         | インドネシア | 2022.6～2025.6   |
| 296          | Mr. Ronaldi                                | インドネシア | 2022.6～2025.6   |
| 297          | Mr. Wahyudi                                | インドネシア | 2022.6～2025.6   |
| 298          | Mr. Yazid Al Bastomi                       | インドネシア | 2022.6～2025.6   |
| 299          | Mr. Zul Fahmi                              | インドネシア | 2022.6～2025.6   |
| 300          | Mr. Kenzo Lorenzo Da Concencao De Oliveira | インドネシア | 2022.6～2025.6   |
| 301          | Mr. Muhammad Aniq Azim Bin Zazuli          | マレーシア  | 2023.3～2026.3   |
| 302          | Mr. Muhamad Zaki Azrin Bin Zainudin        | マレーシア  | 2023.3～2026.3   |
| 303          | Mr. Haddad Alwi Rahmayahya                 | インドネシア | 2023.7～2026.7   |
| 304          | Mr. Bambang Abdul Syahid                   | インドネシア | 2023.7～2026.7   |
| 305          | Mr. Agisna Nurhadi                         | インドネシア | 2023.7～2026.7   |
| 306          | Mr. Alkatri Moh Musairi                    | インドネシア | 2023.7～2026.7   |
| 307          | Mr. Hoki Darusman                          | インドネシア | 2023.7～2026.7   |
| 308          | Mr. Muhamad Ikhsanudin Al Maruf Ms         | インドネシア | 2023.7～2026.7   |
| 309          | Mr. RADEN JIAN AL FAJAR                    | インドネシア | 2023.10～2026.10 |
| 310          | Mr. MUHAMMAD IKHSAN AKBAR                  | インドネシア | 2023.10～2026.10 |
| 311          | Mr. M RIFKI NURDIN FIRDAUS                 | インドネシア | 2023.10～2026.10 |
| 312          | Mr. Anggi                                  | インドネシア | 2024.7～2027.7   |
| 313          | Mr. Isnanda                                | インドネシア | 2024.7～2027.7   |

|             |                                       |        |                 |
|-------------|---------------------------------------|--------|-----------------|
| 314         | Mr. Muhammad aldi                     | インドネシア | 2024.7～2027.7   |
| 315         | Mr. Muhammad wahyu saputra            | インドネシア | 2024.7～2027.7   |
| 316         | Mr. Pujiana amrullah                  | インドネシア | 2024.7～2027.7   |
| 317         | Mr. Royyan fahmi abrori               | インドネシア | 2024.7～2027.7   |
| 318         | Mr. Alian asrofiq hidayat             | インドネシア | 2024.10～2027.10 |
| 319         | Mr. Alfiyan yusuf nasrulloh           | インドネシア | 2024.10～2027.10 |
| さく井 2名      |                                       |        |                 |
| 320         | Mr. Serbito Jester John Talledo       | フィリピン  | 2022.7～2025.7   |
| 321         | Mr. Bugtong Efren Decena              | フィリピン  | 2022.7～2025.7   |
| 電子機器組立て 1名  |                                       |        |                 |
| 322         | Mr. Muhammad Syahmi Bin Zakaria       | マレーシア  | 2023.9～2026.9   |
| コンクリート製造 6名 |                                       |        |                 |
| 323         | Mr. Ginete Ronel Larry Rosquillo      | フィリピン  | 2023.12～2026.12 |
| 324         | Mr. Cuarte Klent Cepida               | フィリピン  | 2023.12～2026.12 |
| 325         | Mr. Valeriano Jelord Sudlon           | フィリピン  | 2023.12～2026.12 |
| 326         | Mr. Bicera neil john ernes avellaneda | フィリピン  | 2024.12～2027.12 |
| 327         | Mr. Mamac mark anthony reyes          | フィリピン  | 2024.12～2027.12 |
| 328         | Mr. Beneza norfil alcantara           | フィリピン  | 2024.12～2027.12 |

【実習科目及び国別研修生数】

| 実習科目       | 国 別    |       |       |       |      | 合計 |
|------------|--------|-------|-------|-------|------|----|
|            | インドネシア | マレーシア | ミャンマー | フィリピン | ベトナム |    |
| 機械保全       |        | 2     |       | 3     |      | 5  |
| 建設機械施工     | 17     | 5     |       |       |      | 22 |
| 塗装         |        |       |       | 7     |      | 7  |
| 冷凍空気調和機器施工 |        | 8     |       |       |      | 8  |
| 溶接         |        |       |       | 5     |      | 5  |
| 鉄筋施工       |        |       |       | 11    |      | 11 |
| 配管         |        | 1     |       | 1     |      | 2  |
| 型枠施工       |        | 4     |       |       |      | 4  |
| 建具製作       | 24     |       |       |       |      | 24 |
| 自動車整備      |        | 31    |       | 5     |      | 36 |
| 工業包装       | 3      |       |       | 30    |      | 33 |
| 射出成型       |        |       |       | 6     |      | 6  |
| 鉄工         | 20     |       |       | 3     |      | 23 |
| 防水施工       |        |       |       | 3     |      | 3  |
| 牛豚処理加工業    |        |       |       | 2     |      | 2  |
| 介護         | 6      |       | 14    | 12    |      | 32 |
| とび         | 23     | 2     |       | 2     | 3    | 30 |
| さく井        |        |       |       | 2     |      | 2  |
| 電子機器組立て    |        | 1     |       |       |      | 1  |
| コンクリート製造   |        |       |       | 6     |      | 6  |

|    |    |    |    |    |   |     |
|----|----|----|----|----|---|-----|
| 合計 | 93 | 54 | 14 | 98 | 3 | 262 |
|----|----|----|----|----|---|-----|

## 2) 受託事業

## 1) 特定技能

| No                     | 氏名                              | 国名     | 期間              |
|------------------------|---------------------------------|--------|-----------------|
| <b>耕種農業(施設園芸) 2名</b>   |                                 |        |                 |
| 1                      | Mr. Preza Zulueto II Talledo    | フィリピン  | 2022.1~2027.1   |
| 2                      | Mr. Barreyro Darwin Bejarin     | フィリピン  | 2022.1~2027.1   |
| <b>耕種農業(畑作・野菜) 19名</b> |                                 |        |                 |
| 3                      | Mr. Paborada Noel Jr Bulanon    | フィリピン  | 2022.12~2027.12 |
| 4                      | Mr. Requiron Steniel Cabayao    | フィリピン  | 2022.12~2027.12 |
| 5                      | Mr. Baldemor Deo Jomar Tobias   | フィリピン  | 2021.8~2026.8   |
| 6                      | Mr. Caampued Julie Nunez        | フィリピン  | 2023.1~2024.1   |
| 7                      | Mr. Labaoan Aquilles Balueg     | フィリピン  | 2023.6~2024.5   |
| 8                      | Mr. Tesoro Tom James Isao       | フィリピン  | 2023.7~2028.7   |
| 9                      | Mr. Alfaro Santy Jay Pilor      | フィリピン  | 2023.7~2028.7   |
| 10                     | Mr. Samsul Gay                  | インドネシア | 2023.9~2028.9   |
| 11                     | Mr. Abdul Rokhman Rokhim Soleh  | インドネシア | 2023.12~2028.12 |
| 12                     | Mr. Deo Pratiskatama            | インドネシア | 2023.12~2028.12 |
| 13                     | Mr. Tarrazona Jomaver Telebrico | フィリピン  | 2023.12~2028.12 |
| 14                     | Mr. Claridad Jhon Ray Relota    | フィリピン  | 2023.12~2028.12 |
| 15                     | Mr. Wardi                       | インドネシア | 2024.4~2029.4   |
| 16                     | Mr. SRIYANTO                    | インドネシア | 2024.5~2029.5   |
| 17                     | Mr. Ainur Rasyid                | インドネシア | 2024.5~2029.5   |
| 18                     | Mr. Sylvania Dexter Carbonel    | フィリピン  | 2024.5~2029.5   |
| 19                     | Mr. Mina Jeffrey Macasiray      | フィリピン  | 2024.9~2029.9   |
| 20                     | Mr. Maulana Ibrahim             | インドネシア | 2024.11~2029.11 |
| 21                     | Mr. Ade Kosana                  | インドネシア | 2024.11~2029.11 |
| <b>耕種農業(果樹) 3名</b>     |                                 |        |                 |
| 22                     | Mr. Heri                        | インドネシア | 2024.1~2029.1   |
| 23                     | Mr. Muhamad Miladi Aminyoga     | インドネシア | 2024.3~2029.3   |
| 24                     | Mr. SYAFII                      | インドネシア | 2025.2~2030.2   |
| <b>畜産農業(養豚) 7名</b>     |                                 |        |                 |
| 25                     | Mr. Futosa John Steven Itulid   | フィリピン  | 2023.5~2028.5   |
| 26                     | Mr. Tabinas Raymart Merced      | フィリピン  | 2023.8~2028.8   |
| 27                     | Mr. Manahan Roberto Bartolome   | フィリピン  | 2024.4~2029.4   |
| 28                     | Mr. TALINGDAN NARCISO BALUCAS   | フィリピン  | 2024.7~2029.7   |
| 29                     | Mr. Sylvester Lewis             | マレーシア  | 2024.11~2029.11 |
| 30                     | Mr. ECHAGUE ALVIN VINCUA        | フィリピン  | 2025.2~2030.2   |
| 31                     | Mr. ORIEL ROMEO JR AKONG        | フィリピン  | 2025.2~2030.2   |
| <b>畜産農業(養鶏) 5名</b>     |                                 |        |                 |
| 32                     | Mr. Ursula Carlo Castaneda      | フィリピン  | 2023.2~2028.2   |
| 33                     | Mr. Tanacio Frodan Ablaza       | フィリピン  | 2023.3~2028.3   |
| 34                     | Mr. Telebrico Gelo Barcelo      | フィリピン  | 2023.3~2028.3   |
| 35                     | Mr. Astrande Arman Tamo         | フィリピン  | 2023.3~2028.3   |
| 36                     | Mr. De Villa Alvin Magboo       | フィリピン  | 2023.3~2028.3   |
| <b>畜産農業(酪農) 1名</b>     |                                 |        |                 |
| 37                     | Ms. D Susette Semuil            | マレーシア  | 2024.4~2029.4   |
| <b>溶接 3名</b>           |                                 |        |                 |
| 38                     | Mr. Cuizon Reynaldo Jr Yangyang | フィリピン  | 2022.1~2027.1   |
| 39                     | Mr. Dacumos Reychon Villegas    | フィリピン  | 2022.12~2027.12 |
| 40                     | Mr. Bermudez Reymund Cuerdo     | フィリピン  | 2023.6~2028.6   |
| <b>鉄筋施工 11名</b>        |                                 |        |                 |
| 41                     | Mr. Ginete Jason Rey Doloso     | フィリピン  | 2022.9~2023.9   |

|                     |  |        |                 |
|---------------------|--|--------|-----------------|
| 42                  | Mr. Dupaan Andrew Romero                       | フィリピン  | 2022.9～2027.9   |
| 43                  | Mr. Callena Nomer Cacho                        | フィリピン  | 2022.12～2027.12 |
| 44                  | Mr. Fernandez Florencio Jr. Jamaybay           | フィリピン  | 2022.10～2027.10 |
| 45                  | Mr. Domingo Samuel Jr Tadeo                    | フィリピン  | 2022.12～2027.12 |
| 46                  | Mr. Barcena Darren Borja                       | フィリピン  | 2023.7～2028.7   |
| 47                  | Mr. Bodona Diomar Rayan Rafael                 | フィリピン  | 2023.7～2028.7   |
| 48                  | Mr. Mangma Reymark Walohan                     | フィリピン  | 2023.7～2028.7   |
| 49                  | Mr. Entero Jayson Molina                       | フィリピン  | 2023.7～2028.7   |
| 50                  | Mr. Babida Jimar Berona                        | フィリピン  | 2024.7～2029.7   |
| 51                  | Mr. Garcia Dickson Silvania                    | フィリピン  | 2024.7～2029.7   |
| <b>建設機械施工 8名</b>    |  |        |                 |
| 52                  | Mr. Mohamad Faizal Azlizam Bin Abdul Talib     | マレーシア  | 2022.4～2027.4   |
| 53                  | Mr. Pramudya Eka Syachriar                     | インドネシア | 2023.3～2028.3   |
| 54                  | Mr. Pendik Jatmiko                             | インドネシア | 2023.3～2028.3   |
| 55                  | Mr. Isam Fauzi                                 | インドネシア | 2023.3～2028.3   |
| 56                  | Mr. Ismanto                                    | インドネシア | 2022.4～2023.9   |
| 57                  | Mr. Hasrul                                     | インドネシア | 2022.4～2023.9   |
| 58                  | Mr. Acebo Jerson Montilla                      | フィリピン  | 2023.12～2028.12 |
| 59                  | Mr. MOHD ASHRAF BIN IBRAHIM                    | マレーシア  | 2024.7～2029.7   |
| <b>型枠施工 1名</b>      |  |        |                 |
| 60                  | Mr. Mohd Firdaus Safwan Bin Musinin            | マレーシア  | 2024.7～2029.7   |
| <b>建具製作 3名</b>      |  |        |                 |
| 61                  | Mr. Angriawan Deny Alfiantoro                  | インドネシア | 2024.10～2029.10 |
| 62                  | Mr. Muhammad Khaidir Muhammad Rasyid           | インドネシア | 2024.10～2029.10 |
| 63                  | Mr. Lewi Gulid Sambonu                         | インドネシア | 2024.11～2029.11 |
| <b>配管 2名</b>        |  |        |                 |
| 64                  | Mr. Muhammad Asyraf Hamizan Bin Ahmad Zawawi   | マレーシア  | 2024.4～2029.4   |
| 65                  | Mr. Wan Mohammad Imran Fahmi Bin Wan Nor Irman | マレーシア  | 2024.4～2029.4   |
| <b>自動車整備 6名</b>     |  |        |                 |
| 66                  | Mr. Sotto Alexander Arquo                      | フィリピン  | 2023.4～2028.4   |
| 67                  | Mr. Fernandez Glizaldren Nograles              | フィリピン  | 2023.4～2028.4   |
| 68                  | Mr. Macaya Jan Rafael Salhay                   | フィリピン  | 2021.10～2026.1  |
| 69                  | Mr. Trube Joemar Ocumen                        | フィリピン  | 2022.5～2027.5   |
| 70                  | Mr. Muhammad Redzuan Bin Burhan                | マレーシア  | 2023.1～2028.1   |
| 71                  | Mr. MUHAMMAD NAFIS BIN ABDUL AZIZ              | マレーシア  | 2024.12～2029.12 |
| <b>塗装 1名</b>        |  |        |                 |
| 72                  | Mr. Ocumen Michael Palara                      | フィリピン  | 2024.10～2029.10 |
| <b>牛豚食肉処理加工業 3名</b> |  |        |                 |
| 73                  | Ms. Sibuyan Easther Cindy Dizon                | フィリピン  | 2023.2～2024.2   |
| 74                  | Ms. Francisco Julie Ann Penafiel               | フィリピン  | 2023.2～2028.2   |
| 75                  | Ms. Sibuyan Easther Cindy Dizon                | フィリピン  | 2024.11～2029.11 |
| <b>飲食品製造業 10名</b>   |  |        |                 |
| 76                  | Mr. Mochamad Dading Mufasil                    | インドネシア | 2023.4～2028.4   |
| 77                  | Mr. Syukur Andriawan                           | インドネシア | 2023.4～2028.4   |
| 78                  | Mr. HADI NUROHIM                               | インドネシア | 2024.4～2029.4   |
| 79                  | Mr. FEBRIANA                                   | インドネシア | 2024.4～2029.4   |
| 80                  | Mr. ROHAN HIDAYAT                              | インドネシア | 2024.4～2029.4   |
| 81                  | Mr. ANGGI DENI SUPRIYANTO                      | インドネシア | 2024.4～2029.4   |
| 82                  | Ms. ELSA APRI ANANTI                           | インドネシア | 2024.9～2029.9   |
| 83                  | Ms. DEDE NOVIANTI RISMANTO                     | インドネシア | 2024.12～2029.12 |
| 84                  | Ms. TANUTAN ELLA ENORPE                        | フィリピン  | 2024.12～2029.12 |
| 85                  | Ms. JAMALIA SURYANI                            | インドネシア | 2025.2～2030.2   |
| <b>介護 7名</b>        |  |        |                 |
| 86                  | Mr. Aristo Januardi Amril                      | インドネシア | 2021.12～2026.12 |
| 87                  | Ms. Villanueva Joyce Pesca                     | フィリピン  | 2023.12～2028.12 |
| 88                  | Ms. SUARNABA KELLIE MARIE ALOJADO              | フィリピン  | 2024.5～2029.5   |
| 89                  | Ms. JEREMIA NATALINA SAMOSIR                   | インドネシア | 2024.9～2029.9   |

|    |                                |        |               |
|----|--------------------------------|--------|---------------|
| 90 | Ms. MONIKA SIHOMBING           | インドネシア | 2024.9～2029.9 |
| 91 | Ms. JUWI YANTI GEOVANI SIAGIAN | インドネシア | 2025.1～2030.1 |
| 92 | Ms. OKTRINA TELEUMBANUA        | インドネシア | 2025.1～2030.1 |

【実習科目及び国別研修生数】

| 実習科目 \ 国 別  | インドネシア | マレーシア | フィリピン | 合計 |
|-------------|--------|-------|-------|----|
| 耕種農業（施設園芸）  |        |       | 2     | 2  |
| 耕種農業（畑作・野菜） |        | 8     | 11    | 19 |
| 耕種農業（果樹）    | 3      |       |       | 3  |
| 畜産農業（養鶏）    |        |       | 5     | 5  |
| 畜産農業（養豚）    |        | 1     | 6     | 7  |
| 畜産農業（酪農）    |        | 1     |       | 1  |
| 溶接          |        |       | 3     | 3  |
| 鉄筋施工        |        |       | 11    | 11 |
| 建設機械施工      | 5      | 2     | 1     | 8  |
| 型枠施工        |        | 1     |       | 1  |
| 建具製作        | 3      |       |       | 3  |
| 配管          |        | 2     |       | 2  |
| 自動車整備       |        | 2     | 4     | 6  |
| 塗装          |        |       | 1     | 1  |
| 牛豚食肉処理加工業   |        |       | 3     | 3  |
| 飲食品製造業      | 9      |       | 1     | 10 |
| 介護          | 5      |       | 2     | 7  |
| 合 計         | 25     | 17    | 50    | 92 |

## 総括

当法人がプロジェクトを構える各国、各現場の農民・漁民へのヒアリングを行うと、以前に増して、地球環境の変化を揃って口にするのが印象に残る。活動に加わるモチベーションとなっているからと推察する。今年度も、海外の実情を日本国内に伝えるよう、各種体験活動やセミナー、海外現場視察、イベントへの出展などを実施し、16,000人以上にご参加いただくことができた。引き続き、世界各国の現場、国内各支部、各拠点の存在という他団体からうらやましがられる優位性を活かしつつ、対外企画力・接触力・集客力が向上するよう努力しながら、「一般公募型」行事を展開したい。

創立から40・50・60年を支えた第2期支援者層から、70年・80年目を支える第3期支援者層を構築できるかどうか、すでに大きな曲がり角に立っている。徹底した攻めの姿勢で臨んでいるものの、当面は厳しい状況が続くと思われる。会員のほか寄付者を含む支援者の年齢構造は逆ピラミッド型であり、年を追うごとに総数が増えずピラミッドが細まっている。個人会員および寄附者の平均年齢は70歳を若干下回る程度である点、オイスカ全体でダイレクトメールを出せる名簿が「わずか7,000件程度」しかないという点に対して、強い危機感を持っている。

2021年度に上記分析をして以来、平均年齢以下とくに若年層の理解者・支援者を増やさねばならないことを最重要課題と掲げ、長年の弱点の「個人対策」に取り組んできた。支援者拡大策の一つとして、主に個人向けに実施している3年目の季節募金も夏・冬2度実施した結果、新規収入策としての位置を確立できた。しかし、『コンタクトできる「友人」=潜在的寄附者』を継続的に増やす仕組みをつくり、今年度ダイレクトメール送付先3,000人増やす目標を掲げたが、新しい送付先、寄付者数が大幅に増えたとは言えない。

「広報が弱い」「知名度が低い」と昔から指摘されているが、昨年度末には、テレビ朝日「報道ステーション」でウズベキスタン・アラル海沙漠化防止プロジェクトが紹介されるなど、メディア露出も全国的に微増傾向にある。HPの更新頻度の大幅増、SNSの活用更新、オンラインを活用した活動報告会などを重ね、HPやSNSへのアクセス回数などは堅調に増えている。多くのNGO・NPOなどからなる「寄付月間推進委員会」や報道関係者など外部識者からは評価を受けている。しかし、SNSを活用しない世代が中心の支援者層からは、さらなる広がりを生むことは難しいジレンマがある。まずは職員一人一人が、粘り強く拡散努力を続ける必要がある。

会費収入は、コロナ禍前の3年間は微増したが、それ以降は微減が続いている。会員数はすでに3,691件、入金ベースでは3,522件。会員「獲得力」は10年前の年平均約300件から低下し、いまは126件に落ち込んでいる状況である。そもそもオイスカは、4ヵ所の研修センターが西日本寄り、東日本の会員数が少ない「西高東低」と、個人・法人数の比率が半々（法人数が多い）などの特徴があるが、首都圏・関西の大都市圏での会員増強は依然として進まず、地盤沈下が著しい。自らが立てた戦略・戦術を信じ、脱「逆ピラミッド型」に向けて、まずは理解者・賛同者を増やす展開を続けたい。

【表1】重要数値サマリー

| 内容                                  | 2023年度実績     | 2024年度目標     | 2024年度実績     | 目標対比         |
|-------------------------------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 各種活動への参加者数 *                        | 17,262人      | 10,621人      | 16,367人      | +5,746       |
| 賛助会員数                               | 3,863件       | 4,000件       | 3,691件       | ▲309         |
| 新規入会者数                              | 151件         | 250件         | 126件         | ▲124         |
| 退会者数                                | 385件         | 200件         | 311件         | +111         |
| 賛助会員受取会費収入                          | 124,802,000円 | 135,001,000円 | 122,760,000円 | ▲12,241,000円 |
| 年間寄附者数                              | 1,272件       | 1,500件       | 1,288件       | ▲212件        |
| 新規寄附者数                              | 226件         | 300件         | 295件         | ▲5件          |
| 受取寄附金収入                             | 209,067,746円 | 276,924,000円 | 240,804,077円 | ▲36,119,923円 |
| 保有有効リスト数                            | 6,911件       | 10,000件      | 6,856件       | ▲3,144件      |
| コンタクト可能件数<br>(郵送・SNS・YouTube・メルマガ含) | 15,398件      | 18,000件      | 15,949件      | ▲2,051件      |

\*本部・TC・支部で企画した各種活動への参加者のべ人数

## 1. 講演会・セミナー等の開催

### ① 「地球環境を考えるトークイベント 2024 春」

開催日：令和6年5月19日（日）

会場：会場（CIVI 北梅田研修センター）とオンラインのハイブリッド開催

参加者：100名

内容：

「子供の森」計画に参加するタイとインドネシアの子ども4名が親善大使として、また、プログラムを調整しながら指導にあたる現地スタッフ2名が来日したのに合わせ、「小さなヒーローたちの森づくり」と題し、現地での活動の様子、活動にあたっての課題などについて発表。広く「子供の森」計画の活動を知っていただく機会として実施。

### ② 「サステナブルな世界を考えるトークイベント 2024 秋」

開催日：令和6年11月26日（火）

会場：会場（コンgresクエア日本橋）とオンラインのハイブリッド開催

参加者：150名

内容：

『輪と和』が創るサステナブルな世界」と題してトークイベントを開催。森林環境学を専門とする東京大学名誉教授の太田猛彦氏、東京海上日動火災保険株式会社の小橋稔睦氏、住友化学株式会社の星野正大氏、オイスカ海外事業部の林久美子が、ネイチャーポジティブに向けた緑化の意義や持続可能な社会を目指す自社の取り組み、オイスカと連携した海外植林事業などについてそれぞれの立場から語った。首都圏支部20周年行事として首都圏支部と共催

【表2】講演会等の行事は以下のとおり。

| 組織名             | 事業名                            | 開催日    | 参加者数        | 開催場所                       |
|-----------------|--------------------------------|--------|-------------|----------------------------|
| 北海道支部           | アラル海砂漠化回復プロジェクト体験ツアー報告&交流会     | 5月9日   | 21名         | SappoLodge (札幌市)           |
| 宮城県支部           | 活動報告会                          | 8月2日   | 60名         | カメイ(株)本社 (仙台市)             |
| 首都圏支部<br>(本部共催) | 首都圏支部設立20周年記念トークイベント           | 11月26日 | 60名<br>80名  | コングレスクエア日本橋<br>オンライン配信     |
| 山梨県支部           | やまなし水源地ブランド推進協議会 令和6年度(第13回)総会 | 6月4日   | 38名         | 恩賜林記念館 (甲府市)               |
|                 | 甲州市・オルビスの森活用協議会 第2回総会          | 7月3日   | 11名         | 甲州市役所 (甲州市)                |
|                 | 富士山の森づくり推進協議会 2024年度総会         | 2月7日   | 21名         | 東京農業大学 (世田谷区)              |
| 富山県支部           | 活動報告会                          | 5月27日  | 65名         | 富山県民会館 (富山市)               |
| 静岡県支部           | 第二回中部日本の集い                     | 6月15日  | 70名         | オイスカ浜松国際高校 (浜松市)           |
| 愛知県支部           | 2024 オイスカデー                    | 9月28日  | 300名        | 東別院会館 (名古屋市)               |
| 中部日本後援会         | オイスカ活動報告会                      | 2月20日  | 40名         | 東桜会館 (名古屋市)                |
| 豊田推進協議会         | 樋泉先生講演会                        | 3月11日  | 29名         | 中部日本研修センター                 |
| 三重推進協議会         | オイスカ講演会                        | 12月13日 | 200名        | 中部日本研修センター                 |
| 岐阜県支部/本部        | 「ぎふ木育」講演                       | 6月29日  | 15名         | 大垣フォーラムホテル (大垣市)           |
|                 | 「子供の森」計画 報告会                   | 10月24日 | 30名         |                            |
| 関西支部/本部         | 「子供の森」計画親善大使 トークイベント           | 5月19日  | 100名        | 北梅田 CIVI 研修センター (大阪市)      |
|                 | 「子供の森」計画親善大使 活動報告会             | 5月20日  | 109名<br>40名 | 住友化学(株)大阪工場<br>東急エクセルホテル大阪 |
|                 | タイ活動報告会                        | 2月23日  | 10名         | 関西支部事務所                    |
| 四国支部            | 第14回支部幹事会 記念講演会                | 4月26日  | 40名         | 四国研修センター                   |
|                 | 第30回オイスカ四国のつどい                 | 10月11日 | 280名        | ホテルパールガーデン                 |
| 西日本支部           | オイスカ福岡県議連活動報告会                 | 12月12日 | 100名        | 福岡県庁                       |



第30回オイスカ四国のつどい (四国支部)



活動報告会 (宮城県支部)

## 2. 資料の作成・配布・インターネットでの情報発信

地球環境の保全をはじめとする公益に資するオイスカの活動の重要性を広く社会に伝えることを目的として、各種資料の作成・配布およびインターネットを活用した情報発信を行っている。これらの取り組みは、団体の活動内容を多くの人々に知っていただくことで、環境問題や持続可能な社会づくりへの理解と関心を促し、一人ひとりの意識や行動の変容につなげることを目指している。また、社会全体における環境保全へのマインドを高め、共に取り組む仲間を広げていくためにも、わかりやすく信頼性のある情報発信を継続していくことが重要であると考えている。

### (1) 個人支援者の維持・拡大

#### ① 潜在支援者の獲得に向けた取り組み

持続的な支援基盤の拡充を図るため、これまで関係のなかった層へのアプローチを強化し、オイスカの活動理念や取り組みに共感し、将来的に支援につながる「潜在的支援者」の獲得を目的として、以下のような施策を実施。

#### <主な取り組みと進捗>

##### ○交流・参加の機会提供

各種イベントや現地視察ツアー(詳細:表5、6、7、8)を通じ、オイスカの活動を現場で知ってもらう機会を提供

##### ○支援の入口づくり

クラウドファンディングや季節募金など、参加しやすい形での支援機会を提供した。特にクラウドファンディングでは、新たな層からの共感を得て34人が新規支援者であった。

##### ○デジタルツールの活用

SNSでの定期的な情報発信を継続実施。SNS広告を季節募金期間中に実施し、新規層からのWebサイト閲覧が見られた。オンラインイベントを8回実施し、延べ参加者数416名、うち初めての関わりの方が99名と、新規層へのリーチにつながっている。

##### ○啓発資料の活用

オイスカ紹介リーフレットやSNS案内ハガキの配布を通じ、イベント来場者に活動を伝えるとともに、理解を深めるきっかけづくりを行った。

#### <成果と今後の課題>

SNSフォロワー数は前年比110%、Webサイト閲覧のアクティブユーザー数は前年比158%に増加。また、寄付月間共同事務局が主催する「寄付月間2023 パートナー賞」を受賞し、SNSでの発信が評価された。支援者像設定のための調査が未実施だったことにより、イベント実施や情報発信に活用することができず、広く一般向けの発信にとどまった。また、イベント参加者の支援者管理システムへの登録が進まないことから、登録の意義を内部に浸透させることが必要。潜在支援者との継続的な関係構築には、フォローアップ施策やセグメントに応じたコミュニケーションの工夫が必要と感ずるため、具体策を検討していきたい。

#### ② 継続寄附者の参加・支援機会の提供

継続してご支援くださる寄附者の皆さまとの信頼関係を維持・強化するため、活動内容の可視化や、参加・対話の機会づくりの取り組みを進めた。これにより、単なる「寄附」ではなく、オイスカの活動に共に関わる仲間としての意識を醸成し、より継続的で主体的な支援へとつなげることを目的としています。

### <主な取り組みと進捗>

#### ○年次報告書の送付

年間活動報告書（広報誌「OISCA」9月号）を寄附者の皆さまにもお届けし、団体の活動全体への理解を深めていただくとともに、ご支援がどのように活かされているかを伝えた。

#### ○季節募金の案内

年に2回実施する季節募金を通じ、継続的な支援への参加を呼びかけた。既存寄附者にはメールや郵送でご案内し、「一度きりではない継続した関わり」の定着を図った。

#### ○報告会・講演会の開催（詳細:表2）

現場の声や活動の成果を直接伝える機会として、報告会や講演会を開催。

### <成果と今後の課題>

季節募金のリピート率は54%（前年度寄附者の今年度寄附率）で推移しているものの、報告会や講演会の案内が寄附者に確実に届けられていないことから、寄附者に賛助会員に入会いただくというマイルドを持ちながら、オンラインとオフラインを組み合わせる確実に案内を届ける仕組みづくりが必要。また、現在、メールマガジンを配信しているシステムが古く改善が必要なものの、改善が進んでいない。支援者管理システムを活用した配信に早期に切り替え、効果検証をしながら継続寄附者との関係強化につなげていく。

### ③賛助会員の維持と拡大、参加・支援機会の提供

団体の理念に共感し、継続的に支えてくださる賛助会員の維持と拡大は、安定した事業運営と地域に根ざした活動の継続のために不可欠であり、新規会員の獲得と既存会員との関係深化の両面から取り組みを進めた。

### <主な取り組みと進捗>

#### ○支部・研修センターでの行事を活用した新規会員獲得

地域ごとの支部活動や研修センターでの行事において、オイスカの取り組みを実際に見て、感じてもらう機会を設けた。行事後には、活動への理解と共感が高まり、新規賛助会員の獲得につながるケースも見られた。

#### ○多様なイベントを通じた理解促進（詳細:表5、6、7、8）

視察ツアーや報告会、講演会といった双方向のコミュニケーションの場を通じて、賛助会員の皆さまに活動の成果を直接お伝えし、「支援してよかった」と実感していただく機会となった。

#### ○広報誌「OISCA」の発行による定期的な情報提供

年6回発行の広報誌では、各地の活動レポートなどを掲載し、活動の幅広さや成果を伝えるとともに、現場やスタッフを身近に感じていただく役割を果たした。

### <成果と今後の課題>

各種行事や広報活動を通じて、126件の新規賛助会員を獲得。退会数は311件と、前年と比較して抑制傾向にあるものの、会員総数は前年比4.5%減となった。2019年から賛助会員数の減少が続き、2018年度対比16%減少していることから、内部で課題を共有し、解決策をともに考え実施することとする。一方で、全国には会員数を維持、増加させている支部もあるため、支部間の情報共有を密にし、好事例を全国に拡大させる。既存の賛助会員一人ひとりとのつながりをより丁寧に築き、行事への参加を促すなど、会員継続の感謝を伝える機会の充実を図っていく。

## ④大口支援者の維持・拡大

大口支援者との信頼関係の維持・発展は、持続可能な事業運営において極めて重要。長期的なパートナーシップを築くことを目指し、事業の報告とともにお礼を丁寧に伝えるなどのコミュニケーションを大切にしている。

## &lt;主な取り組みと進捗&gt;

手書きのメッセージを添え、年間のご支援のお礼としてカレンダーを送付するなど、個別での丁寧な対応を行った。

## &lt;成果と今後の課題&gt;

一方通行のコミュニケーションを進化させ、一人ひとりの関心分野に応じた報告や情報提供ができるよう関係の深化に努める。

【表3】&lt;数値資料&gt;

| 内 容                  | 2023 年度実績           | 2024 年度目標           | 2024 年度実績           | 目標対比             |
|----------------------|---------------------|---------------------|---------------------|------------------|
| オンラインイベント参加者数        | 188 人               | 300 人               | 416 人               | 139%             |
| ホームページユーザー数          | 88,024 人            | 100,000 人           | 139,353 人           | 139%             |
| ホームページからの入会・寄付者数     | 入会 11 人<br>寄附 174 人 | 入会 30 人<br>寄附 200 人 | 入会 26 人<br>寄附 158 人 | 入会 87%<br>寄附 79% |
| Facebook フォロワー数      | 3,474               | 4,000               | 3,870               | 97%              |
| X フォロワー数             | 1,686               | 1,800               | 1,736               | 96%              |
| Instagram フォロワー数     | 564                 | 700                 | 646                 | 92%              |
| YouTube チャンネル登録者数    | 1,269               | 1,500               | 1,376               | 92%              |
| YouTube 視聴回数         | 12,439 回            | 15,000 回            | 14,234 回            | 95%              |
| メールマガジン登録者数          | 1,494               | 1,800               | 1,465               | 81%              |
| マスメディア露出回数           | 23 回                | 30 回                | 30 回                | 100%             |
| 夏募金 寄付金額             | 9,160,493 円         | 7,000,000 円         | 9,792,311 円         | 140%             |
| 件数                   | 480 件               | 440 件               | 402 件               | 91%              |
| 冬募金 寄付金額             | 8,396,275 円         | 9,000,000 円         | 8,328,433 円         | 93%              |
| 件数                   | 445 件               | 554 件               | 465 件               | 84%              |
| クラウドファンディング(タイ) 寄付金額 | —                   | 3,000,000 円         | 2,750,000 円         | 92%              |

## (2) 法人支援者の維持・拡大

当団体は、法人支援が6割をしめ、持続可能な活動の財政的基盤であるとともに、オイスカの理念や活動を社会に広く伝えるパートナーである。既存の法人支援者との関係を継続・強化しながら、新たな法人支援者との接点創出に向けた広報・営業活動を推進した。

## &lt;主な取り組みと進捗&gt;

日頃のコミュニケーションや活動報告を通じて、既存法人会員との信頼関係の維持を図るとともに、新規支援や支援拡充の可能性を模索。本部の主催で法人担当者向けのトークイベントを1回、講演会を1回開催し、活動への理解深化に努めた。また、法人の担当者などが気軽に活動を把握できるよう、SNSやWebサイトの閲覧を勧め、オンライン上での情報接触の促進を図った。

#### <成果と今後の課題>

法人営業の人的リソースや営業用資料の整備に課題があり、対応力の底上げが引き続き求められる。今後は、企業や団体との関係構築の質をさらに高め、「共に価値を創る」パートナーとしての位置づけを確立していきたい。

#### (3) 全役職員・全国組織役員（財団・支部・推進協議会）一体となったファンドレイジング

オイスカの全国組織が一体となり、ファンドレイジングへの理解と主体的な関わりを深めていくことは、継続的な支援基盤を築く上で欠かせない。そのために、情報の共有、役職員の意識づくり、現場とのつながりの強化を意識的に行った。

#### <主な取り組みと進捗>

##### ○組織内での進捗共有と理解の促進

理事会・評議員会・顧問参与懇談会、全国支部・推進協議会の役員会などを通じて、ファンドレイジングの現状や進捗を報告し、主体的に関わっていただける土台づくりを実施。また、本部内の企画調整会議や部課長会議では、全国組織の重要データや現場の声を共有し、組織全体の一体感醸成に努めた。

##### ○職員向けの継続的な学びの場の提供

職員のファンドレイジングや広報に関する知識の底上げを図るため、オイスカアカデミーと称した勉強会を20回実施。海外プロジェクトの最新状況や国内各拠点の取り組み、予算や決算状況の説明、ファンドレイジング施策などの実務とつながる内容を共有した。

##### ○巻き込み強化

季節募金やクラウドファンディングの実施にあたり、全国の組織・関係者に対し、案内・拡散・支援協力を依頼。地域や立場を越えて連携する土台づくりに取り組んだ。

#### <成果と今後の課題>

支援者との橋渡し役として、全国各支部でもクラウドファンディングや季節募金の紹介を自主的に行う事例が増えている。

一方で、情報量や施策が多岐にわたるため、組織全体の理解度や関わり方には濃淡があり、参加のハードルを下げる工夫が求められていると感じる。

今後は、事例共有などを通じて全国支部の貢献を可視化し、「一体感」の醸成に努めていく。

#### (4) 広報

オイスカの活動や理念をより多くの人に届けることは、支援の輪を広げ、持続的なファンドレイジングにつながる重要な基盤となる。2024年度は、広報の人的リソース不足により、当初の計画どおりの実施が難しかったが、2025年度は支部も巻き込んだ戦略的広報を実現させるべく、コミュニケーションを密にする。

#### <主な取り組みと進捗>

##### ○積極的なプレスリリースとメディア露出の促進

支部により濃淡はあるものの、メディアとのつながりでいくつかの媒体での掲載につながり、活動の認知拡大と信頼性向上に寄与。テレビ朝日「報道ステーション」のアラル海特集でウズベキスタン沙漠化防止プロジェクトについて10分にわたり報道された。

## ○企業・団体と連携した内部広報の充実

企業の社内ポータルでオイスカとの協働事業やイベントの告知をしてもらうよう働きかけを行い、参加や認知拡大につながった。

## ○ファンディングを意識した広報戦略の実践

ただ情報を届けるのではなく、「誰に・何を伝えて・どう動いてほしいか」を明確にした広報を展開。SNS やメールマガジンでも募金ページへの誘導や事例の紹介を組み込み、行動喚起を意識した。

## ○ホームページの更新とアクセス分析に基づく改善

イベント実施前は SNS での発信を強化するため、アクセス数が増える傾向にあった。前年度と比較し、アクティブユーザー数が 158%に上昇。ある特定のブログの閲覧数が全ページの中で上位に入っており、Google 検索上位にランクするページの存在が全体のアクティブユーザー数を押し上げている。

## &lt;成果と今後の課題&gt;

各支部のネットワークでメディア掲載につながる事例が多くある一方で、支部間に掲載数に差があることから、メディアへのアプローチ方法について好事例を共有することで、さらなる露出につなげる。Web サイト訪問数は増加傾向にあり、分析し傾向を応用することでリーチできていない層に届く広報を実施していく。一方で、メールマガジンは内容や発信方法にまだ工夫の余地があることから、優先順位を高めて改善していく。

### 3. 森林整備活動

オイスカが進める森林整備活動等は、企業と協働し、植栽、間伐といった地域のニーズに即した森林整備や里山再生活動を行っている。同時に日本の林業を支え、持続可能な社会を目指すために国産木材の利用や森林の活用を促進すると共に、その循環の仕組みづくりに取り組んでいる。

|      | 2024 年度計画 | 2024 年度実績 |
|------|-----------|-----------|
| 参加人数 | 3,670 人   | 3,428 人   |

#### (1) 持続可能な森林経営を通じた地球環境の保全

【表 4】①企業等との協働による森林保全活動

| 事業名                                   | 実施月           | 活動内容                                   | 参加者数        | 活動場所    |
|---------------------------------------|---------------|--|-------------|---------|
| 北海道地区「緑の募金」協定による募金推進活動<br>公益社団法人森と緑の会 | 5, 6 月        | 社内での緑の募金実施                             | 法人<br>5 社   | 法人会員の社内 |
| 国際森林デー 2025 in TOKYO                  | 3 月           | 「葛ツル除去作業」を予定していたが、悪天候のためセレモニーのみ実施      | 60 名        | 海の森公園   |
| 富士山の森づくり                              | 通年            | 獣害ネット補修作業、ウグイス生息数調査など                  | 延べ<br>750 名 | 山梨県鳴沢村  |
| 甲州市・オルビスの森づくり                         | 11 月          | 植栽、森の散策、ステージ塗装                         | 14 名        | 山梨県甲州市  |
| 本田技研工業<br>秩父の森づくり                     | 6, 10 月       | 下草刈り、補植、現場視察                           | 延べ<br>89 名  | 埼玉県秩父市  |
| ライオン山梨の森づくり                           | 4, 5, 7, 10 月 | 子どもプログラム、木の移植のための掘り取り、植栽、堆肥用落ち葉集め、歩道新設 | 延べ<br>210 名 | 山梨県山梨市  |

|                               |                      |                                  |             |                |
|-------------------------------|----------------------|----------------------------------|-------------|----------------|
| 東急ホテルズ<br>グリーンコインの森           | 6, 11 月              | 高尾天平での除伐・歩道修繕、植栽、農作業（間引き、土寄せ、収穫） | 延べ<br>100 名 | 山梨県丹波山村        |
| プロネクサスの森                      | 3 月                  | 植林、ベンチづくり                        | 40 名        | 山梨県道志村         |
| 三菱自動車工業<br>パジェロの森             | 4, 10 月              | 歩道整備、歩道新設、除伐<br>下草刈り作業、除伐作業      | 延べ<br>287 名 | 山梨県早川町         |
| フォレスターズ・スクール<br>(中部電力株)       | 2 月 1 日              | 基調講演「森林の働きと間伐の必要性」、間伐体験など        | 12 名        | 中部日本<br>研修センター |
| 四万十よんでん協働の森                   | 10 月 25 日            | 間伐、紅葉植樹作業                        | 30 名        | 高知県四万十町        |
| 令和 6 年度「香川・よんでん<br>五色の森づくり活動」 | 11 月 7 日             | 紅葉植林地の下草刈り作業                     | 59 名        | 香川県高松市         |
| 九州電力・米作り体験活動                  | 5 月 25 日<br>9 月 28 日 | 田植え作業、交流会<br>稲刈り作業、交流会           | 各 130 名     | 西日本<br>研修センター  |

【表 5】②全国支部組織の環境保全活動

| 組織名             | 事業名                 | 開催日   | 参加者数        | 活動場所                |
|-----------------|---------------------|---|-------------|---------------------|
| 北海道支部           | 森の保全活動 in えこりん村(春)  | 5 月 18 日  | 26 名        | えこりん村の森<br>(恵庭市)    |
|                 | 第 1 回北海道生物多様性の保全活動  | 5 月 26 日  | 38 名        | 有明地区の厚別川周辺<br>(札幌市) |
|                 | 第 2 回北海道生物多様性の保全活動  | 7 月 13 日  | 28 名        | 有明地区の厚別川周辺<br>(札幌市) |
|                 | トトロップの森「植樹祭」        | 10 月 5 日  | 47 名        | 野幌森林公園・国有林<br>(江別市) |
|                 | 森の保全活動 in 白老(秋)     | 10 月 19 日   | 7 名         | ポロト湖 (白老町)          |
|                 | 森の保全活動 in えこりん村(冬)  | 1 月 18 日  | 9 名         | えこりん村の森<br>(恵庭市)    |
| 首都圏支部           | 富士山の森づくり            | 7 月 6 日   | 20 名        | 山梨県鳴沢村              |
|                 | 2024 年「海の森公園」ボランティア | 10 月 26 日   | 27 名        | 「海の森公園」             |
| 富山県支部           | 緑の里山保全の森づくり活動       | 5 月 25 日<br>6 月 9 日<br>7 月 27 日<br>9 月 28 日   | 延べ<br>170 名 | 天林地区<br>(富山県中新川郡)   |
| 静岡県支部           | 富士山の森づくり            | 7 月 6 日   | 11 名        | 山梨県鳴沢村              |
| 愛知県支部           | 「オイスカの森」環境保全活動      | 7 月 20 日  | 10 名        | 愛知県設楽町              |
| 豊田<br>推進協議会     | 富士山の森づくり            | 7 月 6 日   | 10 名        | 山梨県鳴沢村              |
|                 | 農業ボランティア            | 5 月 25 日<br>6 月 8 日<br>7 月 13 日<br>8 月 10 日<br>9 月 14 日<br>10 月 19 日<br>11 月 9 日<br>12 月 14 日<br>1 月 18 日<br>3 月 22 日 | 延べ<br>371 名 | センター圃場              |
|                 | 海岸林再生プロジェクト         | 11 月 11, 12 日   | 17 名        | 宮城県名取市              |
| 三重・みよし<br>推進協議会 | 海岸林再生プロジェクト         | 9 月 7, 8 日  | 13 名        | 宮城県名取市              |

|              |                                 |               |            |                      |
|--------------|---------------------------------|---------------|------------|----------------------|
| 関西支部         | 海岸林再生プロジェクト                     | 9月21日         | 20名        | 宮城県名取市               |
| 広島県支部        | オイスカ広島の森づくり活動                   | 5月25日         | 30名        | 廿日市市吉和<br>県立もみのき森林公園 |
|              | 山・林・SUN活動                       | 7月27日         | 59名        |                      |
| 四国支部         | 海岸林再生プロジェクト                     | 11月11日        | 7名         | 宮城県名取市               |
|              | 山・林・SUN体験 in 尾の瀬山<br>「オイスカ憩いの森」 | 11月24日        | 75名        | 尾の瀬山 (まんのう町)         |
|              |                                 | 1月23日         | 10名        |                      |
|              |                                 | 3月18日         | 16名        |                      |
| 愛媛県<br>推進協議会 | Mt. LOVE10                      | 5月27日         | 延べ<br>134名 | 忽那山 (松山市)            |
|              |                                 | 5月30日         |            |                      |
|              |                                 | 7月28日         |            |                      |
|              |                                 | 10月26日        |            |                      |
|              |                                 | 11月10日        |            |                      |
|              |                                 | 11月11日        |            |                      |
|              |                                 | 12月15日        |            |                      |
|              |                                 | 12月16日        |            |                      |
|              |                                 | 2月22日         |            |                      |
| 3月17日        |                                 |               |            |                      |
| 西日本支部        | 梅の木選定作業                         | 12月5日         | 100名       | 福岡城公園 (福岡市)          |
|              | 宝珠山百年の森づくり植林活動                  | 11月23日        | 50名        | 東峰村 (朝倉郡)            |
|              | 海岸林再生プロジェクト                     | 1月24日～<br>26日 | 2名         | 宮城県名取市               |
|              | 虹の松原清掃活動                        | 2月22日         | 40名        | 佐賀県唐津市               |
| 朝倉<br>推進協議会  | 桜の植樹                            | 3月9日          | 約170名      | 福岡県朝倉市               |



緑の里山保全の森づくり活動 (富山県支部)



北海道生物多様性の保全活動 (北海道支部)



富士山の森づくり (山梨県・首都圏・静岡県・愛知県支部)

## 4. 各種体験活動

【表6】(1) イベント・交流会への参加、実施

| 組織名     | 事業名   | 開催日           | 参加者数          | 場所                                |
|---------|---|---------------|---------------|-----------------------------------|
| 北海道支部   | 「子供の森」計画<br>子ども親善大使の招聘・交流                   | 5月14日～<br>19日 | 178名          | 厚別西小学校、<br>和光小学校ほか                |
|         | 設立40周年記念 北海道<br>「子供の森」計画チャリティー<br>ディナーコンサート | 11月18日        | 202名          | 札幌パークホテル<br>(札幌市)                 |
|         | オイスカ北海道の存続課題と<br>将来を語る会および懇親会               | 3月24日         | 23名           | 札幌パークホテル<br>(札幌市)                 |
| 首都圏支部   | 第6回ふるさと和泉・みんなの<br>夏祭り2024                   | 8月3日          | 3500名         | 杉並区立「和泉学園」                        |
|         | 国際協力活動支援「チャリテイ<br>バザー」                      | 9月28日         | 70名           | 東京本部                              |
|         | 豊洲市場「ゴミ0デー」                                 | 10月19日        | 100名          | 豊洲市場構内                            |
|         | 「豊洲市場まつり2024」                               | 11月3日         | 多数            | 豊洲市場6街区                           |
| 山梨県支部   | 早川町山菜まつり                                    | 5月3日          | 多数            | 早川町民スポーツ広場<br>(早川町)               |
|         | 早川町紅葉と食まつり                                  | 10月27日        | 多数            |                                   |
|         | 第77回富士登山競争                                  | 7月25,26日      | 多数            | 富士北麓公園(富士吉田市)                     |
|         | UTYエコフェス                                    | 10月19日        | 多数            | UTY山梨(甲府市)                        |
|         | SAIKO HARVEST FESTA<br>西湖収穫祭                | 11月2,3日       | 多数            | アミューズビレッジ広場<br>(富士河口湖町)           |
|         | MORIKATSU                                   | 11月17日        | 2000名         | 塩山ふれあい館(甲州市)                      |
|         | 甲府市SDGsクリスマス会                               | 12月8日         | 多数            | 甲府市役所(甲府市)                        |
| 木コレ2024 | 12月19,20日                                   | 多数            | 東京ビックサイト(江東区) |                                   |
| 富山県支部   | チャリティゴルフコンペ                                 | 11月3日         | 36名           | 呉羽カントリークラブ<br>(富山市)               |
| 半田推進協議会 | 研修生との国際交流会                                  | 5月15日         | 30名           | ステーキハウス森牧場                        |
| 安城推進協議会 | 親睦ゴルフ大会                                     | 6月13日         | 20名           | 葵カントリークラブ                         |
| 知立推進協議会 | チャリティバザー                                    | 6月1日          | 30名           | ヴィラトピア知立(知立市)                     |
|         | 知立福祉祭り                                      | 10月2日         | 100名          | パティオ池鯉鮒(知立市)                      |
| 岐阜県支部   | 「子供の森」計画<br>コーディネーター研修受入れ                   | 10月24,25日     | 10名           | ぎふ木遊館、岐阜県森林ア<br>カデミー、アクアととぎふ<br>他 |
| 関西支部    | ワンワールドフェスティバル                               | 2月8,9日        | 多数            | 梅田スカイビル                           |
| 広島県支部   | 四国・中部日本研修センター研<br>修生の広島研修受入                 | 11月19,20日     | 19名           | 広島平和記念資料館、宮島                      |
| 四国支部    | かがわ国際フェスタ2024                               | 10月14日        | 多数            | アイパル香川(高松市)                       |
|         | チャリティゴルフコンペ                                 | 11月15日        | 54名           | 高松グランドCC                          |
|         | チャリティゴルフ大会                                  | 3月21日         | 75名           | 高松カントリー倶楽部                        |
| 中讃推進協議会 | 丸亀お城まつり                                     | 5月3,4日        | 多数            | 丸亀城                               |
|         | 交流会   | 12月3日         | 12名           | オークラホテル丸亀                         |
| 高松推進協議会 | 高松・夏のバーベキュー交流会                              | 7月21日         | 67名           | 仏生山の森(高松市)                        |
|         | 第29回高松秋のまつり<br>仏生山大名行列                      | 10月19,20日     | 多数            | 仏生山公園(高松市)                        |

|          |  |  |   |   |
|----------|--|--|---|---|
|          | 令和6年度<br>高松市環境活動展  | 10月30日<br>～11月5日   | 多数  | 市民交流プラザ<br>(瓦町FLAG8階)   |
| 香川東推進協議会 | 造田小学校国際交流  | 11月5日  | 30名   | 造田小学校(さぬき市)   |
| 高知県推進協議会 | 四万十川「よんでんの森」体験<br>学習   | 10月25日   | 20名   | 高知県リバーパーク轟  |
| 徳島県推進協議会 | とくしままちなか花ロード<br>Project  | 9月21日  | 多数  | 藍場浜公園(徳島市)  |
| 西日本支部    | 田植え交流会   | 6月1日<br>6月3日<br>6月6日<br>6月8日                                 | 延べ<br>385名                                      | センター圃場  |
|          | オイスカ農産物販売会   | 7月4,5日<br>7月6日<br>7月11日<br>11月26日<br>11月27,28日               | 多数  | 福岡県庁ロビー<br>田隈公民館<br>福岡市役所前<br>福岡市役所前<br>福岡県庁ロビー                                 |
|          | 地球体験村  | 7月25～27日   | 30名   | センター内   |
|          | サマーナイトフェスティバル  | 8月24日  | 1000名   | センター内   |
|          | 岩田産業社員宿泊研修<br>九電生協宿泊研修<br>長崎県立大学学生宿泊体験<br>ガールスカウト宿泊研修  | 5月31日,6月<br>1日<br>10月17～19日<br>3月4,5日<br>3月22,23日            | 3名<br>4名<br>5名<br>21名                           | 西日本センター   |
|          | 大野城国際交流協会 交流会<br>アトリエ木下 交流会<br>オイスカ高校 交流会<br>福岡農業高校 交流会<br>福岡教育大附属中学校 交流会<br>鹿本農業高校 交流会<br>唐津南高校 交流会 | 6月29日<br>9月4日<br>12月6日<br>12月12日<br>1月8,21日<br>1月9日<br>2月22日 | 30名<br>70名<br>150名<br>40名<br>130名<br>40名<br>40名 | センター内<br>センター内<br>センター内<br>高校内(太宰府市)<br>中学校内(福岡市)<br>高校内(熊本県山鹿市)<br>高校内(佐賀県唐津市) |
|          | 稲刈り大会  | 10月5日<br>10月10日  | 110名  | センター圃場  |
|          | 芋掘り交流会   | 10月29日<br>10月30日<br>11月21日                                   | 延べ<br>95名                                       | センター圃場  |
|          | もちつき大会   | 11月16日<br>12月21日<br>12月25日<br>12月28,29日                      | 延べ<br>530名                                      | 脇山小学校(福岡市)<br>西日本センター(福岡市)<br>若竹保育園(春日市)<br>ワッキー主基の里(福岡市)                       |
|          | チャリティゴルフコンペ  | 2月9日   | 55名   | 伊都ゴルフ倶楽部  |
|          | 収穫感謝祭  | 11月9日  | 1800名   | センターグラウンド   |



中部・四国研修センター視察受入（広島県支部） 「子供の森」計画コーディネーター研修受入れ（岐阜県支部）

【表7】（2）海外現場視察・ツアー開催

| 組織名             | 期間            | 人数          | 訪問先               |
|-----------------|---------------|-------------|-------------------|
| 北海道支部           | 2月3日～7日       | 6名          | フィリピン アブラ州        |
|                 | 3月6日～14日      | 4名          | ウズベキスタン カラカルパクスタン |
| 山梨県支部           | 9月25日～10月2日   | 7名          | フィジー共和国 ビチレブ島     |
| 富山県支部           | 8月4日～8月8日     | 25名         | モンゴル エルデネット       |
| 静岡県支部           | 7月24日～7月28日   | 11名         | モンゴル              |
|                 | 11月14日～11月23日 | 1名          | インド               |
| 関西センター<br>広島県支部 | 8月24日～31日     | 18名<br>(6名) | フィリピン アブラ州・南イロコス州 |
| 西日本支部           | 8月16日～22日     | 7名          | マレーシア サバ州         |
| 佐賀推進協議会         | 8月3日～8日       | 12名         | モンゴル エルデネット       |
| 茨城推進協議会         | 9月4日～8日       | 3名          | フィリピン 西ネグロス州      |
|                 | 2月16日～3月1日    | 12名         |                   |



フィリピン植林フォーラム（関西センター・広島県支部）



地球環境再生植林フォーラム（山梨県支部）



オイスカ・ふれあいの翼 2024 マレーシア・サバ州ツアー（西日本支部）

### （3）森のつみ木広場、木育推進事業

国産材のつみ木やおもちゃを使った遊びの機会を提供し、子どもたちが木に親しみ、森の大切さを感じられるようにする「木育事業」を通じて、持続可能な森林保全や活用につなげるための啓発活動を行っています。ワークショップ形式で行う「つみ木広場」では、つみ木の材料となる森の木についての話から始まり、つみ

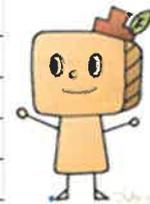
木を使った街づくりへと発展していきます。子どもたちにとっては楽しい遊びの時間であると同時に、親子で環境について学ぶ大切な機会となっています。令和6年度は全国の支部や支援組織などで約50回開催されました。

こうした活動や連携の実績をもとに、現在は森林環境譲与税を活用した自治体への木育事業導入を働きかけています。また、地域において木育事業を継続的に実施できる仕組みづくりの一環として、大人を対象に木の魅力や森の循環、木材の活用、ワークショップの運営方法などを学ぶ「木育スクール」も開始しました。今後は、こうした取り組みを通じて、木育事業のさらなる拡大を目指しています。

【表8】

| 組織名             | 開催日                | 開催場所・イベント名 等                                   |                         |
|-----------------|--------------------|--|-------------------------|
| 北海道支部           | 12月4日              | 札幌市立元町北小学校 第56回森のつみ木広場                         |                         |
| 首都圏支部/<br>山梨県支部 | 9月12日              | 豊洲めぐみこども園「森のつみ木広場」                             |                         |
|                 | 11月15日             | 中央区立中央幼稚園「森のつみ木広場」                             |                         |
| 山梨県支部           | 6月21日              | 山梨保育園 森のつみ木広場・おもちゃ広場（山梨市）                      |                         |
|                 | 6月25日              | 八幡保育園 森のつみ木広場・おもちゃ広場（山梨市）                      |                         |
|                 | 6月29日              | Moku iku isuzu 森のつみ木広場・おもちゃ広場（藤沢市）             |                         |
|                 | 7月20日              | 西柴保育園 森のつみ木広場・おもちゃ広場（横浜市）                      |                         |
|                 | 2月1日               |  |                         |
|                 | 8月21日<br>～26日      | 岡島百貨店 木育キャラバン（甲府市）                             |                         |
|                 | 9月21日              | 国際平和デー 森のつみ木広場・おもちゃ広場（北杜市）                     |                         |
|                 | 11月17日             | 塩山ふれあい館 森のつみ木広場・おもちゃ広場（甲州市）                    |                         |
|                 | 11月30日             | つつじヶ崎学園 森のつみ木広場・おもちゃ広場（甲府市）                    |                         |
|                 | 12月7日              | 横濱ファミリーデー（横浜市）                                 |                         |
|                 | 12月15日             | おやこでeco たいけんスペシャル！<br>～木育ひろば・たくさんをつみ木で遊ぼう～（港区） |                         |
|                 | 12月16日             | 能登震災支援 森のつみ木広場（珠洲市）                            |                         |
|                 | 1月21日              | 水元幼稚園 森のつみ木広場（葛飾区）                             |                         |
|                 | 2月22,23日           | 木育キャラバン in 山梨県立科学館（甲府市）                        |                         |
|                 | 5月15日<br>6月6日      | 甲運小学校 環境学習授業・体験学習（甲府市・鳴沢村）                     |                         |
|                 | 6月1日               | オルビスの森 神金小学校 環境教育活動への協力（甲州市）                   |                         |
|                 | 6月9日               | LAKE YAMANAKA FESTIVAL おもちゃ広場（山中湖村）            |                         |
|                 | 7月7日               | YBS 山梨放送 おもちゃ広場（甲府市）                           |                         |
|                 | 7月30日              | 産業貿易センター 木育スクール（横浜市）                           |                         |
|                 | 8月3日               | 「こどもフェスタ」おもちゃ広場（山梨市）                           |                         |
|                 | 8月28日              | やまなし地域づくり交流センター 木育スクール（甲府市）                    |                         |
|                 | 11月10日             | 中区民まつり「ハローよこはま」おもちゃ広場（横浜市）                     |                         |
|                 | 1月16日              | 丹波山村役場 おもちゃ広場（丹波山村）                            |                         |
|                 | 12月15日<br>3月16,17日 | 能登震災支援 おもちゃ広場・木育スクール（野々市市・金沢市）                 |                         |
|                 | 山梨県支部/<br>静岡県支部    | 10月12日   | 静岡市まちづくり公社 森のつみ木広場（静岡市） |
|                 |                    | 10月13日   | ㈱アウン清水 森のつみ木広場（清水市）     |
|                 |                    | 2月18日  | 安倍口小学校 森のつみ木広場（静岡市）     |

|             |           |  |
|-------------|-----------|--|
| 富山県支部       | 8月4日      | 「ゼロニイめぐるマルシェ」森のつみ木体験広場（射水市）  |
|             | 10月12,13日 | 「とやま環境フェア2024」森のつみ木体験広場（富山市）   |
| 丹羽<br>推進協議会 | 5月8日      | 大口町北保育園「つみ木広場」   |
|             | 6月12日     | 扶桑町高雄西保育園「つみ木広場」   |
|             | 7月8日      | 大口町保育園「つみ木広場」  |
|             | 9月6日      | 大口町西保育園「つみ木広場」   |
|             | 10月16日    | 扶桑町高雄南保育園「つみ木広場」   |
|             | 11月5日     | 大口町南保育園「つみ木広場」   |
|             | 12月16日    | 扶桑町柏森南保育園「つみ木広場」   |
|             | 2月25日     | 江南市古知野北保育園「つみ木広場」  |
|             | 3月19日     | 扶桑町扶桑幼稚園「つみき広場」  |
| 安城<br>推進協議会 | 6月21日     | さくら学園第二慈恵幼稚園「つみき広場」  |
|             | 7月23日     | さくら学園慈恵幼稚園「つみき広場」  |
|             | 10月6日     | 安城商工会議所「元気っこフェスタ」  |
| 四国支部        | 7月30日     | 庵治小学校放課後児童クラブ 環境学習自演事業・つみ木広場（高松市）                                    |
|             | 8月1日      | 四国研修センター 環境学習支援事業・つみ木広場（綾川町）   |
|             | 8月7日      | 飯野コミュニティセンター 環境学習支援事業・つみ木広場（丸亀市）                                     |
|             | 8月17日     | 円座コミュニティセンター 子どもSDGs「円っこひろば」（高松市）                                    |
|             | 8月21日     | 川東コミュニティセンター 環境学習支援事業・つみ木広場（高松市）                                     |
|             | 9月3日      | 屋島東コミュニティセンター 環境学習支援事業・つみ木広場（高松市）                                    |
|             | 11月9日     | 林コミュニティセンター 環境学習支援事業・つみ木広場（高松市）                                      |
|             | 3月2日      | Pikara スタジアム カマタマーレ讃岐ホーム公式戦の試合会場を活用した木工工作・キャンピングイベント等ワークショップの実施（丸亀市） |
| 西日本支部       | 8月5日      | 福岡市立百道小学校留守家庭こども園 つみ木広場  |
|             | 8月6日      | 福岡市立青葉小学校留守家庭こども園 つみ木広場  |
|             | 8月7日      | 福岡市立奈多小学校留守家庭こども園 つみ木広場  |
|             | 8月8日      | 福岡市立百道浜小学校留守家庭こども園 つみ木広場   |



つみ木広場（丹羽推進協議会（愛知県支部））



とやま環境フェア2024（富山県支部）

## 5. 東日本大震災復興支援事業

### 【 海岸林再生プロジェクト 第2次10ヵ年計画(2021-2030) 】

2024年度も、プロ約600名とボランティア約1,200名によって、葛・藤などのツル切り・外来種ニセアカシアなどの除伐、排水路修復・新設、本数調整伐(間伐)、作業道維持管理、生長モニタリング・本数調整伐調査、マツケムシ等害虫駆除、マツクイムシ被害防止対策、定期巡視、各種啓発活動等を「無事故」で実施することが出来た。その費用に関しては、当期の寄付金と、これまでの寄付金を積み立てた特定費用準備資金の取り崩しで事業を継続している。その資金が尽き果てるまで、第3次10ヵ年計画(2031-2040)を目標に育林に関わる計画。

海岸防災林における事業規模の本数調整伐は全国初と言われているが、東北被災海岸林の中で、最も早く、順調に実施している。「1伐2残」(33%伐採。汀線に平行に2列残して1列伐採)で、2021年度:10.13ha(2014年植栽地)、2022年度:14.53ha(2014・15年植栽地)、2023年度:25.97ha(2016・17年植栽地)、そして昨年2024年度は16.21ha(2018年植栽地)で実施。名取市海岸林の92%は一度目の伐採を完了した。これを約50年かけて5回繰り返し、5,000本/haを800~1,000本に仕立てる。伐採木は宮城県によって、堆肥、チップ、木質ペレット燃料、バイオマス発電などに100%再利用される。また、名取市海岸林のCO2固定量は606t、93世帯の年間排出量に相当する。

### 【 啓発普及活動 累計実績 】

|                 |                       |
|-----------------|-----------------------|
| *活動報告会・講演会      | 302回・45,202人 (22都道府県) |
| *日本人視察者         | 3,765人                |
| *外国人視察者         | 64カ国・298人             |
| *写真パネル展         | 92回                   |
| *国内メディア等紹介      | 316回                  |
| *HPブログ更新        | 2,826回更新 (震災から14年間)   |
| *寄附金募集パンフレット配布数 | 約29万枚                 |
| *寄附者数           | 2,220人 (オイスカ会員3割)     |
| *寄附総額           | 約9.6億円 (うち積立金 約3億円)   |

### 【 実績総括表 】

(2025.3.31現在)

|    |      | 2011年 | 2012年  | 2013年  | 2014年  | 2015年  | 2016年  | 2017年  | 2018年  | 2019年 | 2020年  | 2021年 | 2022年 | 2023年 | 2023年 | 累計      |    |
|----|------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|---------|----|
| 育苗 | 播種数  | -     | 97,500 | 72,500 | 87,250 | 89,856 | 96,400 | 57,000 | 45,800 | 3,000 | 3,000  | -     |       |       |       | 552,306 | 粒  |
|    | 発芽率  | -     | 95     | 91     | 94     | 94     | 91     | 96     | 95     | 87    | 93     | -     |       |       |       | 93.3    | %  |
| 植栽 | 面積   | -     | -      | -      | 15.67  | 10.06  | 11.00  | 13.66  | 16.32  | 2.00  | 3.75   | -     |       |       |       | 72.46   | ha |
|    | 本数   | -     | -      | -      | 80,182 | 55,084 | 56,037 | 71,945 | 81,600 | 6,000 | 19,350 | -     |       |       |       | 370,198 | 本  |
|    | 活着率  | -     | -      | -      | 98.4   | 98.0   | 98.3   | 99.8   | 99.8   | 100.0 | 100    | -     |       |       |       | 99.2    | %  |
|    | 間伐   |       |        |        |        |        |        |        |        |       |        | 10.13 | 22.78 | 25.97 | 16.21 | 66.84   | ha |
|    | 総雇用数 | -     | 187    | 507    | 1,221  | 985    | 1,109  | 1,309  | 1,164  | 814   | 620    | 1,148 | 675   | 675   | 569   | 10,981  | 人  |
| 市民 | 市民参加 | -     | -      | 262    | 1,365  | 1,691  | 1,800  | 2,096  | 2,273  | 1,892 | 270    | 313   | 1,194 | 1,194 | 1,223 | 15,247  | 人  |
|    | 視察人数 | 263   | 580    | 837    | 567    | 577    | 183    | 231    | 148    | 73    | 14     | 72    | 103   | 103   | 53    | 3,765   | 人  |
|    | 報告会  | 523   | 4,772  | 5,900  | 4,692  | 4,996  | 3,893  | 5,911  | 4,178  | 3,347 | 1,392  | 3,633 | 480   | 480   | 944   | 45,202  | 人  |
|    | 報告会  | 4     | 43     | 28     | 30     | 30     | 26     | 30     | 22     | 24    | 11     | 22    | 11    | 11    | 11    | 302     | 回  |
|    | メディア | 24    | 39     | 27     | 33     | 38     | 20     | 23     | 21     | 7     | 36     | 22    | 8     | 8     | 3     | 316     | 回  |



名取市海岸防災林 100ha 全景 (撮影：2025年5月 左：北端から全景 右：中央部から南端)

## 6. 国際会議の開催

### ① 環境教育を基盤とした青少年育成に関する国際会議

開催日：令和6年10月9日(水)

場 所：国立オリンピック記念青少年総合センター

出席者：11カ国55名

内 容：

各総局からの近況報告、新支局承認のほか、大量生産・大量消費経済の広がりとともに環境問題や貧富の差が深刻化する中、オイスカで学んだ各国の青年たちの知識や技術を活用し、「産業開発」をベースにした「社会に貢献するビジネス」を起こす展望などが議論された。

### ② 東京フォーラム (国際協力活動推進意見交換会)

開催日：令和7年2月27日(木)

場 所：衆議院第一議員会館 国際会議室

出席者：11カ国15名

内 容：

オイスカが活動しているアジア・太平洋地域のうち、11カ国の大使館から4名の大使をはじめとする15名的外交官を迎え開催した意見交換会。日本と同じ島国の外交官からは、極めて低い食糧自給率が課題であり、農業の普及、振興や、そのための人材育成に取り組むオイスカへの期待が寄せられた。また、各国での諸活動への資金獲得についても意見交換が行われ、外務省 NGO 協力推進室の岩上室長が紹介した外務省の日本 NGO 連携無償資金協力に対する関心が寄せられた。

## 5. 収益事業

### 総括

当法人所有の固定資産の有効活用や公益目的事業と位置付けられない受託事業等を実施、利益の100%を公益目的事業に資した。

#### 1. 不動産等の賃貸収益

(1) 所在地：福岡県福岡市内浜一丁目 560 m<sup>2</sup>

貸与先：三菱UFJリース（株）

※事業用定期借地権設定契約

(2) 所在地：東京都杉並区和泉三丁目6-12

賃貸物件名：オイスカハウス永福町 752.20 m<sup>2</sup> (25戸分賃貸面積)

管理委託先：京王不動産（株）

※賃貸運営管理業務委託契約

(3) 所在地：東京都杉並区和泉二丁目17-5

賃貸物件名：オイスカ国際協力総合センター1階 329.81 m<sup>2</sup>

貸与先：株式会社ディアローク

※普通賃貸契約

(4) 所在地：東京都杉並区和泉三丁目6-12

賃貸物件：オイスカハウス永福町駐輪場 4.00 m<sup>2</sup>

貸与先：(株) ループ

※Port 設置保管場所契約

#### 2. 農場管理受託収益

(1) 委託場所：愛知県豊田市勘八町（豊田市旧畜産センター） 58,371 m<sup>2</sup>

管理棟及び農場等の管理

委託者：豊田市

※業務委託契約

## 6. 組織の運営

令和6年度においては評議員会を1回、理事会を4回開催し、健全な運営に努めた。会議、役員、職員に関する件は次のとおりである。

### 1. 会議の開催

#### (1) 評議員会

##### ①令和6年度定時評議員会

日時：令和6年6月25日(火) 12:30～14:00

場所：衆議院第一議員会館 地下1階 第二会議室

議題：

第1号議案：令和5年度事業報告・決算書類(案)について

第2号議案：任期満了に伴う評議員の選任(案)について

報告事項

- ・令和6年度事業計画・予算について
- ・令和5年度特定資産等の資金運用状況

#### (2) 理事会

##### ①令和6年度第1回理事会

日時：令和6年6月6日(木) 12:15～14:00

場所：衆議院第一議員会館 地下1階 第八会議室

議題：

第1号議案：令和5年度事業報告・決算書類(案)及び監査報告

第2号議案：令和5年度新規賛助会員の承認(案)について

第3号議案：令和5年度国際協力活動推進基金明細書について

第4号議案：任期満了に伴う評議員候補の推薦(案)について

第5号議案：支部会長の選任(案)について

第6号議案：参与の委嘱(案)について

第7号議案：国際協力活動推進基金への新規組み入れ(案)について

第8号議案：令和6年度定時評議員会の開催(案)について

報告事項

- ・令和5年度特定資産運用状況について
- ・代表理事・業務執行理事の業務報告

##### ②令和6年度第2回理事会(書面審議)

日時：令和6年7月5日(金)

議題：

第1号議案：中村茂樹(公財) SOMPO 環境財団専務理事への参与委嘱(案)について

③令和6年度第3回理事会

日時：令和6年12月19日(木) 12:30～14:00

場所：衆議院第一議員会館 地下1階 第六会議室

議題：

第1号議案：令和7年度事業計画・予算編成方針（案）について

第2号議案：「国際協力活動推進基金」への新規不動産組み入れ変更（案）について

第3号議案：旧オイスカ青森県国際交流会館の対応について

第4号議案：資金運用の追加商品（案）について

第5号議案：オイスカ松島推進協議会設立承認（案）について

第6号議案：岡山推進協議会の名称使用取り消し（案）について

報告事項

・代表理事、業務執行理事の業務報告

④令和6年度第4回理事会

日時：令和7年3月5日(水) 12:30～14:00

場所：衆議院第二議員会館 地下1階 第八会議室

議題：

第1号議案：令和6年度補正予算(案)について

第2号議案：令和7年度事業計画・予算(案)について

第2号議案①特定寄附金募集目論見書

第2号議案②特定資産取崩し、積立計画（案）

第2号議案③借入限度額の設定

第2号議案④資産運用方針及び計画（案）

第2号議案⑤資金調達及び設備投資の見込みについて

第3号議案：規則の一部改正（案）について

第4号議案：2024年公益法人制度改革への対応（案）について

第5号議案：令和7年度定時評議員会の開催(案)について

2. 役員

令和7年3月31日現在における当法人の役員等は次の通りである。

会 長

渡辺 利夫 拓殖大学顧問

(1) 評議員

| No. | 氏 名     | 役 職           |
|-----|---------|---------------|
| 1   | 赤 阪 清 隆 | 元国連広報担当事務次長   |
| 2   | 岡 田 康 男 | 弁護士           |
| 3   | 神 野 重 行 | 三重産業(株) 代表取締役 |
| 4   | 佐 伯 勇 人 | 四国電力(株) 取締役会長 |

|    |            |                       |
|----|------------|-----------------------|
| 5  | 佐藤百合       | (独法)国際交流基金 理事         |
| 6  | 篠塚 徹       | 拓殖大学北海道短期大学 学長        |
| 7  | 進士 五十八     | 福井県政策参与               |
| 8  | 中村利雄       | (公財)全国中小企業振興機関協会 会長   |
| 9  | ペマ・ギャルポ    | 拓殖大学 国際日本文化研究所 客員教授   |
| 10 | 森本英香       | 早稲田大学法学部 教授 / 元環境事務次官 |
| 11 | マリ クリスティ-ヌ | 東京女子大学 現代教養学部 教授      |

## (2) 代表理事

| No. | 氏名   | 役職   |
|-----|------|------|
| 1   | 中野悦子 | 理事長  |
| 2   | 廣瀬道男 | 副理事長 |

## (3) 業務執行理事

| No. | 氏名   | 役職   |
|-----|------|------|
| 1   | 永石安明 | 専務理事 |
| 2   | 森田 章 | 常務理事 |

## (4) 理事

| No. | 氏名   | 役職                     |
|-----|------|------------------------|
| 1   | 石井淑雄 | (株)石井 代表取締役会長          |
| 2   | 瓜生道明 | 西日本支部会長 九州電力(株)代表取締役会長 |
| 3   | 樋泉克夫 | 愛知県立大学 名誉教授            |
| 4   | 光岡保之 | 愛知県支部 会長               |
| 5   | 湧井敏雄 | 首都圏支部会長、前神奈川経済同友会専務理事  |

## (5) 監事

| No. | 氏名   | 役職        |
|-----|------|-----------|
| 1   | 神山敏夫 | 税理士・公認会計士 |
| 2   | 梶川幹夫 | 元財務省 関税局長 |

(50 音順)

## (6) 顧問

| No. | 氏名      | 役職               |
|-----|---------|------------------|
| 1   | 荒木 光 弥  | 国際開発ジャーナル編集主幹    |
| 2   | 太田 猛 彦  | 東京大学名誉教授         |
| 3   | 苅田 知 英  | 中国電力(株)相談役       |
| 4   | 小林 健    | 日本商工会議所会頭        |
| 5   | 篠沢 恭 助  | (公財)資本市場研究会顧問    |
| 6   | 新木 富士 雄 | 北陸電力(株)名誉顧問      |
| 7   | 十倉 雅 和  | (一社)日本経済団体連合会長   |
| 8   | 新浪 剛 史  | (公社)経済同友会代表幹事    |
| 9   | 廣野 良 吉  | 成蹊大学名誉教授         |
| 10  | 榊本 晃 章  | (一財)日本原子力文化財団理事長 |
| 11  | 松尾 新 吾  | 九州電力(株)特別顧問      |

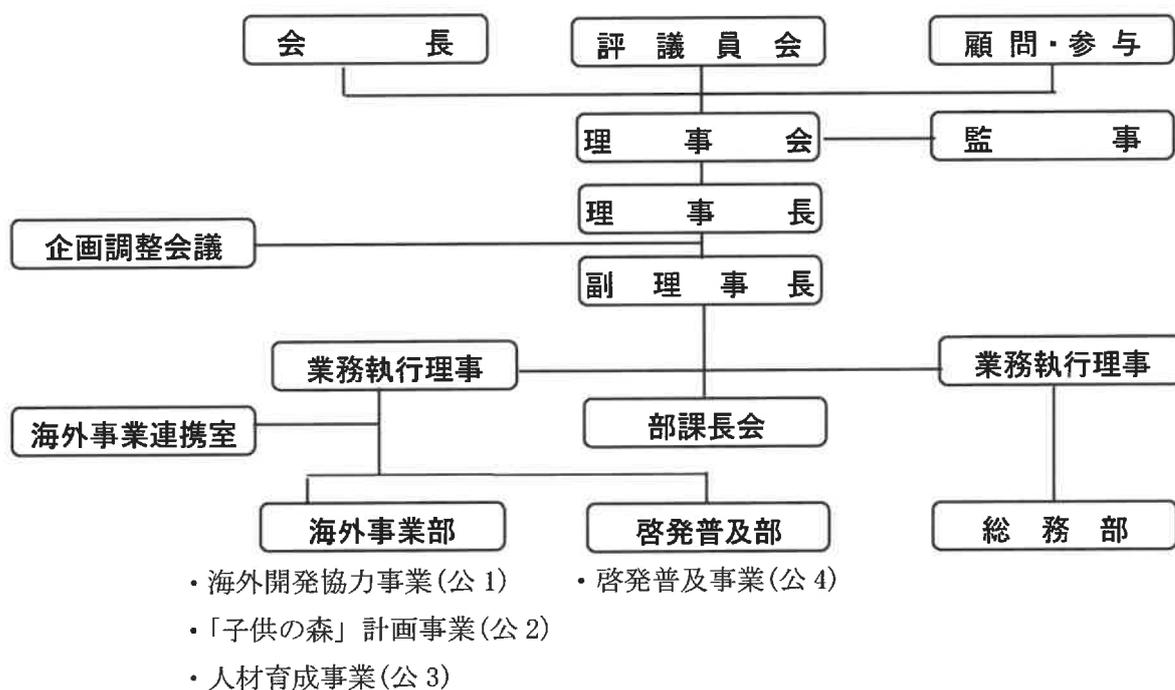
## (7) 参与

| No. | 氏名     | 役職                  |
|-----|--------|---------------------|
| 1   | 泉 雅 文  | 四国支部会長              |
| 2   | 上村 良 成 | 関西支部会長              |
| 3   | 逢見 直 人 | (公財)富士社会教育センター理事長   |
| 4   | 岡本 知 之 | (学)中野学園オイスカ浜松国際高校校長 |
| 5   | 小川 信 也 | 岐阜県支部会長             |
| 6   | 落合 偉 洲 | 静岡県支部会長             |
| 7   | 亀井 文 行 | 宮城県支部会長             |
| 8   | 木島 正 芳 | 元東京入国管理局長           |
| 9   | 久 和 進  | 富山県支部会長             |
| 10  | 黒柳 俊 之 | 元(独)国際協力機構理事        |
| 11  | 小林 泉   | 大阪学院大学国際学部教授        |
| 12  | 茂田 和 彦 | (公社)大日本山林会監事        |
| 13  | 清水 光 朗 | 長野県支部会長             |
| 14  | 杉下 恒 夫 | (一財)国際開発機構理事長       |
| 15  | 中村 陽 子 | NPO 法人メダカのがっこう理事長   |
| 16  | 中村 茂 樹 | (公財)損保ジャパン環境財団専務理事  |
| 17  | 棚田 健 司 | 広島県支部会長             |
| 18  | 宮嶋 嘉 則 | CELCO JAPAN 特別顧問    |
| 19  | 宮島 雅 展 | 山梨県支部会長             |
| 20  | 山下 雅 子 | 社会保険労務士             |
| 21  | 横山 清   | 北海道支部会長             |

(50音順、令和7年3月31日現在)

### 3. 事務機構及び職員

#### (1) 機構図



〈令和7年3月31日現在〉

#### (2) 職員

令和7年3月31日現在における本法人職員(パート職員含む)は次のとおりである。

| 事務所         | 職員数 |
|-------------|-----|
| 本部(海外赴任者含む) | 35  |
| 西日本研修センター   | 12  |
| 中部日本研修センター  | 16  |
| 四国研修センター    | 8   |
| 関西研修センター    | 2   |
| 地方組織        | 14  |
| 合計          | 87  |

令和6年4月1日～令和7年3月31日 賛助会員数の動向と会費入金額  
会員の動向

|       | 期首会員数    |                | 期末会員数    |                | 期首と期末の増減数 |             |
|-------|----------|----------------|----------|----------------|-----------|-------------|
|       | 合計<br>件数 | 法人<br>個人       | 合計<br>件数 | 法人<br>個人       | 合計<br>件数  | 法人<br>個人    |
| 本部直轄  | 150      | 35<br>115      | 148      | 31<br>117      | -2        | -4<br>2     |
| 北海道支部 | 76       | 56<br>20       | 78       | 56<br>22       | 2         | 0<br>2      |
| 宮城県支部 | 187      | 109<br>78      | 173      | 101<br>72      | -14       | -8<br>-6    |
| 首都圏支部 | 309      | 139<br>170     | 301      | 128<br>173     | -8        | -11<br>3    |
| 山梨県支部 | 81       | 39<br>42       | 74       | 38<br>36       | -7        | -1<br>-6    |
| 長野県支部 | 101      | 47<br>54       | 91       | 44<br>47       | -10       | -3<br>-7    |
| 富山県支部 | 125      | 79<br>46       | 120      | 78<br>42       | -5        | -1<br>-4    |
| 静岡県支部 | 198      | 68<br>130      | 196      | 69<br>127      | -2        | 1<br>-3     |
| 愛知県支部 | 836      | 280<br>556     | 777      | 260<br>517     | -59       | -20<br>-39  |
| 岐阜県支部 | 113      | 32<br>81       | 106      | 29<br>77       | -7        | -3<br>-4    |
| 関西支部  | 76       | 32<br>44       | 79       | 34<br>45       | 3         | 2<br>1      |
| 広島県支部 | 68       | 43<br>25       | 68       | 41<br>27       | 0         | -2<br>2     |
| 四国支部  | 815      | 210<br>605     | 775      | 201<br>574     | -40       | -9<br>-31   |
| 西日本支部 | 728      | 304<br>424     | 705      | 310<br>395     | -23       | 6<br>-29    |
| 合計    | 3,863    | 1,473<br>2,390 | 3,691    | 1,420<br>2,271 | -172      | -53<br>-119 |

会費入金額(千円)

|  | 令和5年度入金額 |                  | 令和6年度入金額 | 前年度との差額          |        | 前年比    |
|--|----------|------------------|----------|------------------|--------|--------|
|  | 法人<br>個人 | 合計               |          | 法人<br>個人         | 合計     |        |
|  | 4,574    | 2,120<br>2,454   | 4,121    | 1,740<br>2,381   | -453   | 90.1%  |
|  | 2,660    | 2,280<br>380     | 2,730    | 2,280<br>450     | 70     | 102.6% |
|  | 7,175    | 5,600<br>1,575   | 7,015    | 5,360<br>1,655   | -160   | 97.8%  |
|  | 14,140   | 10,470<br>3,670  | 14,030   | 10,360<br>3,670  | -110   | 99.2%  |
|  | 2,480    | 1,710<br>770     | 2,374    | 1,670<br>704     | -106   | 95.7%  |
|  | 2,928    | 1,900<br>1,028   | 2,808    | 1,900<br>908     | -120   | 95.9%  |
|  | 4,845    | 3,940<br>905     | 4,750    | 3,900<br>850     | -95    | 98.0%  |
|  | 6,869    | 4,460<br>2,389   | 6,914    | 4,570<br>2,344   | 45     | 100.7% |
|  | 24,105   | 13,600<br>10,505 | 22,854   | 13,000<br>9,854  | -1,251 | 94.8%  |
|  | 3,350    | 1,730<br>1,620   | 3,134    | 1,610<br>1,524   | -216   | 93.6%  |
|  | 3,148    | 2,180<br>968     | 3,402    | 2,430<br>972     | 254    | 108.1% |
|  | 2,770    | 2,240<br>530     | 2,725    | 2,160<br>565     | -45    | 98.4%  |
|  | 21,703   | 9,990<br>11,713  | 21,176   | 9,630<br>11,546  | -527   | 97.6%  |
|  | 24,055   | 15,260<br>8,795  | 24,727   | 16,350<br>8,377  | 672    | 102.8% |
|  | 124,802  | 77,500<br>47,302 | 122,760  | 76,960<br>45,800 | -2,042 | 98.4%  |

## 附属明細書

令和7年3月  
公益財団法人オイスカ

なお、令和6年度事業報告書には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。